

歴史の流れと時代区分、歴史の調べ方

p.5

▶ 確認問題

- (1) 西暦 (2) ①紀元前 [B.C.] ②紀元 [A.D.] (3) 8 (4) 2001 (5) 元号 (6) 1868 (7) 大正 (8) 平成 (9) 午 (10) 古代 (11) 中世 (12) 近世 (13) 近代 (14) 現代 (15) 政治 (16) 仮説 (17) 野外調査 (18) 聞き取り調査 (19) レポート

- (2) A 秦 B 万里 C 漢 D 儒教 E 朝貢

解説

- 1 B 陸地の3分の1が氷におおわれる氷期と、温暖な間氷期が、何度か繰り返された。
 (2) モヘンジョ = ダロでは上下水道や公衆浴場などの公共施設が整備されていた。
 2 (1) E F 古代文字の種類には、音を表すもの、物の形を表すものなどがある。
 (2) E 周辺国は中国の皇帝にみつぎものを献上し、家臣の立場となり中国と国交を結んだ。

p.9

▶ 必修問題

- 1 (1) A 氷河 B 青銅器 C 黄河 D シルクロード
 (2) ウ→ア→イ
 (3) イ・打製石器
 (4) ①オリエント ②ハンムラビ法典 ③メソポタミア文明 ア エジプト文明 ウ
 (5) ①秦 ②春秋戦国時代 ③漢
 2 (1) (例) 現在よりも海面が低く、大陸と地続きであった。
 (2) (例) 役人を通して、皇帝の命令が全国に行き渡るようにした。

解説

- 1 (1) D 中国産の絹が西方へ運ばれたことから、シルクロード(絹の道)とよばれるようになった。西方からは、馬やぶどう、仏教などが中国に伝わった。
 (3) アは磨製石器。旧石器時代は打製石器のみを使用していた時代、新石器時代は磨製石器も使用するようになった時代。
 (4) ③アはメソポタミア文明のくさび形文字、ウはエジプト文明の象形文字(神聖文字)である。イはインダス文明のインダス文字、エは中国の殷(商)で使用された甲骨文字。
 2 (1) 「海面」「大陸」という語句を用いること。現在よりも海面が低いことと、大陸と地続きであったことの2点を答える。
 (2) 「役人」という語句を用いること。役人を命令の伝達に用いていたことを答える。

1 人類の登場から文明の発生へ①

p.7

▶ 確認問題

- (1) 猿人 (2) ①火 ②言葉 (3) 打製石器 (4) 新人 (5) 磨製石器 (6) 土器 (7) 新石器時代 (8) 文字 (9) メソポタミア文明 (10) ナイル川 (11) 太陽暦 (12) インダス川 (13) 中国文明 (14) ①殷[商] ②甲骨 (15) 孔子 (16) 始皇帝 (17) 儒教 (18) シルクロード

解説

- (11) 太陽の運行をもととする暦である。
 (13) 黄河と長江の流域に栄えた文明を合わせて、中国文明とよぶ。

p.8

● 図表チェック ●

- 1 A アフリカ B 氷河 C 打製 D ティグリス E エジプト F 周 G 孔子 (1) 旧石器時代 (2) ウ (3) エ
 2 (1) A ナイル B ユーフラテス C インダス D 長江 E くさび形 F 甲骨

2 人類の登場から文明の発生へ②

p.11

▶ 確認問題

- (1) ポリス (2) アテネ
 (3) 民主政 (4) 民会
 (5) 奴隷 (6) 共和政
 (7) 帝政 (8) ローマ字
 (9) バラモン (10) ①シャカ ②仏教
 (11) ヒンドゥー教 (12) ユダヤ教
 (13) ①イエス ②キリスト教
 (14) ローマ帝国
 (15) ①ムハンマド ②イスラム教
 (16) メッカ (17) アッラー

解説

- (4) 女性には参加する権利が認められなかった。
 (5) ギリシャとローマの社会では、生活に必要な労働は奴隷が担った。
 (10) 同時代には、中国で孔子による儒教が生まれている。
 (15)(16) ムハンマドはメッカでイスラム教を開いた。当時のメッカは商業都市として栄えていた。

p.12

● 図表チェック ●

- 1 A シャカ B アテネ
 C ローマ D イエス
 E ムハンマド
 (1) ウ (2) 新約聖書
 2 (1) A 民会 B 貴族
 C 平民 D 皇帝
 E 奴隷
 (2) A 仏教 B キリスト教
 C イスラム教 D メッカ

解説

- 1 B 都市国家(ポリス)の一つである。
 (1) アテネでは市民が集まって自由に発言・議論をする民会が政治の中心であった。重要なことは、すべての成人男子市民が決定に参加する直接民主政で決められた。
 2 (1)C ギリシャでもローマでも、戦闘に参加する人間は政治に参加する権利があるという考え方がある。
 (2)A インドで生まれた仏教は、シルクロードを通り中国や朝鮮に伝わった。インドでは7世紀ごろまで仏教が栄えたが、その後ヒンドゥー教が盛んになった。

p.13

▶ 必修問題

- 1 (1) Aアテネ B地中海 C仏教
 Dユダヤ教 Eキリスト教
 Fイスラム教
 (2) ポリス (3) 皇帝
 (4) X絹 Y香料 Z貨幣 (5) エ
 (6) ①イエス ②ムハンマド ③シャカ
 2 (1) (例) 政治に参加できるのは成人男子市民のみで、女性は参加できなかった。
 (2) (例) ローマ帝国は、キリスト教を最初は迫害していたが、後には国教とした。

解説

- 1 (1) Dユダヤ教は、ユダヤ人だけが救われると説き、神との約束を守ることを重視する。Eイエスはユダヤ教の洗礼を受け、布教活動をしていたが、神との約束や形式にこだわるユダヤ教の指導者を批判し、平等を説いた。イエスの説いた内容は、弟子たちによってまとめられ、キリスト教として広まる。Fイスラム教はユダヤ教とキリスト教の影響を受けていることから、共通した聖地がある。
 (4) このころ、アジア各地で発展した国が現れて、ローマ帝国と交易を行っていた。陸上はシルクロード、海上はインド洋を通るルートが主に利用された。
 (5) ア、イ、ウはギリシャの文化。ギリシャでは理想の人間像を模索する文化が、ローマでは実用的な文化が栄えた。
 (6) ②アッラーはアラビア語で、唯一神のこと。
 2 (1) 参加する権利に、性別による制限があったことを答える。現代は男女に参政権が認められることが民主的であるとされるが、当時は女性の参政権は認められなかった。
 (2) キリスト教への対応が、迫害から国教とすることに移り変わったことを答える。キリスト教はその後ヨーロッパの人々の間で信仰が広がり、発展していった。

p.14~15

- 1 (1) A 猿人 B 新人
(2) 旧石器時代
(3) イ
(4) (例) 石を磨いてつくられた。
- 2 (1) A エジプト B メソポタミア C インダス D 中国
(2) ウ
(3) ア
(4) カ
- 3 (1) イ
(2) ①ウ ②エ
(3) アテネ
(4) ①エ ②シルクロード ③ウ ④イ

解説

- 1 (1) 猿人は直立歩行を始めた最古の人類、新人は私たちの直接の祖先である。
(2) 磨製石器を使う時代は、新石器時代という。
(3) ヨーロッパには、中東を通して、陸伝いに広がった。日本列島に人類がやってきた約5~4万年前は氷河時代で、海面が今より低く、陸続きだった。シベリアから北アメリカ大陸も陸続きになっている時代があった。
(4) 磨製石器は、調理や木の伐採、土堀りなどの道具として利用されたと考えられている。
- 2 (2) ピラミッドは巨大な建造物で、多くの人を働かせ、資材を調達できる権力をもつ者がいたことが分かる。
(3) 殷の青銅器は、重量があり、細かい文様がほどこされていて種類も多い。
- 3 (2) ②メッカはイスラム教の聖地、コーランはイスラム教の聖典。
(3) 写真は、ギリシャのアテネにあるパルテノン神殿。ギリシャの都市国家はポリスとよばれ、中心部の丘の上に神殿がつくられた。
(4) ①Xは万里の長城。武帝は漢の皇帝。②シルクロードは、砂漠のオアシス都市を結んでいた。中国から西方に絹が、西方から中国に馬やぶどうが伝えられた。③ローマ帝国と漢との間にはいくつかの国があった。④アはインドに広まった。ウはキリスト教の一派で、ローマ帝国が東西に分裂した後、東ローマ帝国で広まった。

3 東アジアのなかの倭（日本）

p.17

▶ 確認問題

- 1 (1) 縄文土器 (2) 土偶
(3) たて穴住居 (4) 貝塚
(5) 北九州〔九州北部〕 (6) 銅鐸
(7) 弥生土器 (8) 石包丁
(9) ムラ (10) 高床倉庫
(11) 倭〔倭国〕 (12) 奴国
(13) 邪馬台国 (14) 前方後円墳
(15) ヤマト王権 (16) 百済
(17) 大王 (18) 渡来人
(19) ①仏教 ②儒教

解説

- 1 (4) 貝塚の発掘により、当時の海岸線や人々の生活の様子が分かる。
(5) 銅鐸のなかには、楽器のように鳴らして使われたものもある。
(6) 朝鮮半島南東部には新羅、北部には高句麗があった。
(9) ①百済の王から、仏像や仏教の経典が正式に天皇へおくられた。

p.18

● 図表チェック ●

- 1 A 奴国 B 卑弥呼
C ワカタケル
(1) 森林 (2) 中国
(3) 「魏志」倭人伝
- 2 (1) A 三内丸山 B 黒曜石
C 交易〔交流〕 D 吉野ヶ里
(2) A 古墳 B 奈良
C 鉄 D 朝鮮
E ヤマト

解説

- 1 A 1世紀半ば、奴国の王が中国（漢）に使節を送り、金印を授けられた。
(3) 3世紀の中国では魏・呉・蜀の三国が争っていた。このうち、魏の歴史を記した「魏志」倭人伝に、邪馬台国の様子が詳しく記されている。
- 2 (1) A 三内丸山遺跡では巨大な柱の跡が発見され、高さ10m以上の建築物がつくられていたと考えられる。
(2) B 巨大な古墳がつくられた大和（奈良県）地域には、強大な権力をもつ王が存在していたと考えられる。

C 鉄は延べ板のような形で、朝鮮半島から輸入されていた。

p.19

▶ 必修問題

- 1 (1) A土器〔縄文土器〕 Bたて穴
C貝塚 D稲作〔米づくり〕
Eクニ〔国〕 F豪族 G埴輪
- (2) イ
- (3) 銅鐸
- (4) 吉野ヶ里遺跡
- (5) ①イ ②ウ
- (6) ア
- (7) 高句麗
- 2 (1) (例) 人々の間に身分の差があったこと。
- (2) (例) 朝鮮半島の鉄(や技術)を手に入れるため。

解説

- 1 (1) A縄文土器には、模様や形に工夫をこらしたものが多く、Bたて穴住居は、地面を掘り下げ、その上を屋根でおおってつくる。D水田での稲作が伝わった。G古墳の上や周りには人・馬・家・船などさまざまな形の埴輪が並べられた。
- (2) 1万年前ごろから気候が暖かくなった結果、ナウマンゾウ・マンモスなどの大型の動物は日本列島からいなくなった。
- (3) つりがね状で祭りの道具として使われた。
- (4) 吉野ヶ里遺跡の周りは柵や濠に囲まれているため、周りの集落との争いがあったと考えられる。
- (6) 方墳(四角)と円墳(円形)を合わせた形の前方後円墳である。
- (7) ヤマト王権は朝鮮半島南端の加羅(伽耶)地域との結びつきを強め、百済と同盟を結んで、高句麗や新羅と戦った。新羅は朝鮮半島南東部の国。
- 2 (1) 「身分」という語句を用いること。資料から下戸と大人の違いを読み取り、人々の間に身分の差があったことを答える。
- (2) ヤマト王権の朝鮮半島との結びつきを利用しようとしたことを答える。

4 中国にならった国家づくり①

p.21

▶ 確認問題

- 1 (1) 隋
- (2) ①百済 ②蘇我
- (3) 聖徳太子〔厩戸王〕 (4) 冠位十二階
- (5) 十七条の憲法 (6) 小野妹子
- (7) 法隆寺 (8) 飛鳥文化
- (9) 唐
- (10) ①中大兄皇子 ②大化の改新
- (11) 天智天皇 (12) 白村江の戦い
- (13) 新羅 (14) 大宰府
- (15) 遣唐使 (16) 大宝律令
- (17) 朝廷 (18) 国司

解説

- 2 (2) 仏教を受け入れるべきだとする蘇我氏と、それに反対する物部氏が対立した。
- (6) 隋の進んだ政治のしくみや文化を取り入れるために派遣された。
- (11) 天智天皇の死後、天智天皇の弟の大海人皇子と、天智天皇の子の大友皇子が皇位をめぐる争い(壬申の乱)、勝利した大海人皇子が即位して天武天皇となった。
- (14) 古代の政庁は大宰府、現在の都市名は太宰府と表記が異なる。

p.22

● 図表チェック ●

- 1 A 推古 B 大化の改新
C 壬申の乱
- (1) ウ (2) 蘇我氏
- (3) イ
- 2 (1) A高句麗 B百済
C新羅 D加羅〔伽耶〕
E隋 F白村江
G大宰府
- (2) A太政官 B国司
C郡司 D里長
E駅

解説

- 1 A 女帝である推古天皇が即位すると、おのの聖徳太子が摂政になった。
- B 中大兄皇子と中臣鎌足が中心となって、独裁的な政治を行っていた蘇我氏を倒した。
- (3) 7世紀前半、中国では隋が滅んで唐がおこった。
- 2 (1) B 高句麗と新羅による圧迫を受けた百済は、ヤ

マト王権とのつながりを強めていた。

D 加羅（伽耶）の武具が日本の古墳から出土することから、倭とのつながりが強かったことが分かる。

(2)A 律令制において、太政官は中央・地方のすべての役所を統括していた。

E 大きな道路には駅が設けられ、役人が乗りつぐ馬が用意された。

p.23

必修問題

1 (1) A 隋 B 摂政 C 中大兄皇子 D 白村江
E 大宰府 F 大宝律令

- (2) イ
(3) 冠位十二階
(4) 戸籍
(5) ア
(6) イ・エ

2 (1) (例) 大王 [天皇] の命令は必ず守りなさい。
(2) (例) 律は刑罰のきまり、令は政治のきまりを定めたもの。

解説

- 1 (1) B 摂政は天皇の代わりに政治を行う職で、天皇が女性や幼少の場合に置かれた。F 大宝律令は唐の律・令を参考にしてつくられた。
(2) 高句麗は朝鮮半島北部から中国東北部にかけてあった国。Aは隋、ウは新羅、エは百済である。
(3) 家柄にとらわれずに、才能のある人を役人に取り立てようとした。
(4) 戸籍には姓名や年齢、性別が記され、律令制では、6年ごとに作成された。戸籍を作成することで、国が人民を支配するしくみをつくった。
(6) ア地方は国・郡・里に分けられた。ウ中央から派遣されたのは国司。国ごとに中央から派遣された国司が地方豪族から任命された郡司や里長を監督した。
- 2 (1) 大王（天皇）の命令は必ず守らなければならないということを答える。詔とは大王の命令のこと。
(2) 刑罰、政治のきまりのいずれも解答できて正解。

定期テスト 得点UP 問題 3・4

p.24~25

1 (1) W土偶 X銅鐸 Y埴輪 Z法隆寺

(2) Aエ Bア (3) ウ (4) エ

(5) イ (6) 奈良県

2 (1) イ (2) 卑弥呼

(3) ①ヤマト王権 ②ウ

(4) ①エ ②十七条の憲法 ③ウ

(5) (例) 蘇我氏を倒して、天皇を中心とした国づくりを進めるため。

(6) イ→ア→ウ (7) 大宝律令

解説

- 1 (2) 三内丸山遺跡は青森県、吉野ヶ里遺跡は佐賀県にある。
- (3) Xたて穴住居は、浅く穴を掘り、柱を立てて屋根をかけた。高床の建物は、湿気や動物の侵入を防ぐ倉庫に用いられた。Y貝殻は残りやすいので目立つが、ほかにも動物の骨や木の実などが発見される。ため池をつくる技術は、古墳時代に渡来人が伝えた。
- (4) 狩りは旧石器時代から行っていた。資料の石器は石包丁という。当時は、稲を根元から取り取るのではなく、穂先を摘み取っていた。
- (5) 山陰の島根県東部にも古墳が集中している地域がある。この地域は、古くは出雲とよばれ、近年、埋められていた大量の銅鐸や銅剣が発見されたことから、強い勢力があったことをうかがわせる。
- 2 (1) 倭の奴国のことは「後漢書」東夷伝、邪馬台国のことは「魏志」倭人伝、遣隋使のことは「隋書」倭国伝に書かれている。
- (3) ②「高句麗を破ろう」「高い位をあたえて…ください」とある。
- (4) ①ア入鹿は蝦夷の子。イ推古天皇は馬子の姉妹の子(めい)。ウ聖徳太子は推古天皇の兄弟の子(おい)。
- (6) ア天武天皇は天智天皇の弟で、672年、壬申の乱に勝って673年に即位した。イ天智天皇は、大化の改新を行った中大兄皇子が即位してなった天皇。ウ持統天皇は天武天皇の后で、天武天皇の死後に即位した。
- (7) 大宝律令の完成により、日本は法律に従って政治を行う律令国家となった。

5 中国にならった国家づくり②

p.27

▶ 確認問題

- | | |
|--------------|-------------|
| ■ (1) 貴族 | (2) 市 |
| (3) 班田収授法 | (4) 租 |
| (5) 調 | (6) 庸 |
| (7) 防人 | |
| (8) ①墾田永年私財法 | ②荘園 |
| (9) 天平文化 | (10) 聖武天皇 |
| (11) 正倉院 | (12) シルクロード |
| (13) 行基 | (14) 国分寺 |
| (15) ①鑑真 | ②唐招提 |
| (17) 風土記 | (18) 万葉集 |

解説

- (2) 市では、708年に発行が始まった和同開珎という貨幣が流通した。
- (13) 仏教は最初、貴族に受け入れられたが、行基の活動によって庶民にも広まった。
- (16) 皇室や貴族などに伝えられていた神話や伝承・記録などをもとにまとめられた。
- (18) 柿本人麻呂・大伴家持・山上憶良などの和歌が収められている。

p.28

●図表チェック●

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 A 平城京 | B 墾田永年私財法 |
| C 聖武 | D 鑑真 |
| (1) ウ | (2) 東大寺 |
| 2 (1) A 班田収授法 | B 戸籍 |
| C 口分田 | D 租 |
| E 6 | F 5 |
| (2) A 唐 | B シルクロード |

解説

- 1 D 鑑真は5度の渡航の失敗と失明を乗り越えて、唐から日本に渡り、仏教の正式な戒律（修行のきまりごと）を伝えた。
- (2) 聖武天皇と光明皇后は、仏教の力にたよって国家を守ろうとして、国ごとに国分寺・国分尼寺を、都には東大寺を建て、東大寺には大仏をまつた。
- 2 (1) B 人々は良民と賤民に分けて戸籍に登録された。D 口分田でとれた米の一部は、租として納めなければならなかった。
- F 6歳以上の男女に口分田が与えられたので、家族の全員があてはまる。
- (2) B シルクロードを通じて伝わった西アジアやインドの文化が、天平文化に影響を与えた。

p.29

▶ 必修問題

- 1 (1) A 奈良 B 正倉院 C 6
D 遣唐使 E 天平 F 国分尼寺
- (2) 長安
- (3) ①エ ②ア
- (4) ア
- (5) ①ウ ②防人
- 2 (1) (例) 仏教の力で国を守るため。
- (2) (例) シルクロードを通してもたらされた、インドや西アジアなどの文化の影響を受けた品が見られるから。

解説

- 1 (1) A 奈良の平城京を中心に政治が行われた時代が奈良時代である。B 正倉院正倉は校倉造という方法で建てられた。F 国分寺には男性の僧、国分尼寺には女性の尼が置かれた。
- (2) 当時の中国は唐の時代である。8世紀のユーラシア大陸では西にイスラム教の帝国ができ、イスラム商人が東西に活発に交易した。大都市である唐の都の長安は、イスラム帝国の都市バグダッドとともに国際都市であった。
- (3) イは雑徭、ウは租である。
- (4) 高い地位をもつ豪族を貴族とよんだ。
- (5) ①「万葉集」では、漢字の音を使って日本語を表現する万葉がなが使われた。②防人は、東国出身者が多くあてられた。
- 2 (1) 仏教の力で国の安定を図ろうとしたことを書く。聖武天皇の時代には、伝染病や天災による飢きんが起り、社会不安が広がっていた。
- (2) 「正倉院の宝物のなかに、」の書き出しに続けて書き、「シルクロード」「インドや西アジア」という語句を用いること。インドや西アジアの文化の影響を受けた品（インドや西アジアの品でも可）が見られることと、それらがシルクロードを通してもたらされたことの2点を答える。

p.30~31

- 1 (1) 和同開珎
(2) ①貴族 ②市 ③木簡
④ (例) 道路で基盤の目状に区画されている。
(3) エ
(4) ウ (5) ①東大寺 ②聖武天皇
- 2 (1) A調 B庸 (2) 防人
(3) ①班田收授法 ②X 5 Y 2
(4) エ
- 3 (1) イ (2) 正倉院 (3) 鑑真
(4) 天平文化

解説

- 1 (1) 埼玉県の秩父地方から銅が献上されたことを記念して発行された。和同開珎以前に、富本銭がつくられたが、発見例が少なく、実際に使われたかは分からない。
(2) ③木簡は紙の代わりに、品物の荷札や役所の連絡文書などに使用された。④東西の道路を条、南北の道路を坊という。奈良市には現在も、一条通り、三条通りなどの地名が残っている。
(3) アは「万葉集」をまとめたとされる。イは飛鳥時代に聖徳太子により遣隋使として中国に派遣された。ウは奈良時代の歌人。
- 2 (3) ②租は6歳以上の男女なので、全員。雑徭は17~65歳の男子なので、2人。
(4) エは貴族の食事で、調として納められた地方の特産物などを数種類食べていた。農民の食事は主に玄米と塩、野菜の汁などの質素なものだった。
- 3 (1) 奈良時代には、朝廷の命令で、歴史書や地理書がまとめられた。
(2) 正倉院は東大寺の倉で、校倉造という建築方法で建てられている。「螺鈿紫檀五絃琵琶」には、らくだやなつめやしなどの装飾が施され、「瑠璃环」は西アジアのペルシャでつくられたといわれている。
(4) 天平は、聖武天皇のころの元号。天平文化は、国際色豊かな文化である。

p.33

▶ 確認問題

- 1 (1) ①桓武天皇 ②平安京 (2) 蝦夷
(3) 征夷大將軍 (4) 摂関政治
(5) 藤原道長 (6) 国司
(7) 菅原道真 (8) 宋
(9) 高麗 (10) 国風文化
(11) 大和絵 (12) 寝殿造
(13) かな文字
(14) ①源氏物語 ②枕草子 (15) 古今和歌集
(16) 最澄 (17) 空海
(18) 浄土信仰

解説

- 3 (3) 蝦夷を討つ朝廷の軍の指揮官を示す。
(4) 藤原氏は自分の娘を天皇の后にし、生まれた子どもを天皇にして、自分は摂政や関白となって天皇の政治を代行・補佐する形で権力を握った。
(10) 日本の風土や生活感情に合った文化である。
(11) 日本の自然や風物が大和絵に描かれ、貴族の邸宅のふすまや屏風を飾った。
(18) 平等院鳳凰堂、中尊寺金色堂など各地に阿弥陀堂がつくられた。

p.34

● 図表チェック ●

- 1 A 平安京 B 征夷大將軍
C 天台宗 D 真言宗
E 紀貫之 F 藤原道長
(1) 宋 (2) エ
- 2 (1) A長岡京 B平安京
C国司 D東北
E坂上田村麻呂 F菅原道真
(2) A国風 B大和
C紫式部 D貴族

解説

- 1 A 8世紀の後半、勢いをふるう貴族や僧が現れ、政治が乱れたため、桓武天皇は遷都を考えた。
C・D 天台宗と真言宗は、奥深い山中で厳しい修行を積む密教だった。
(1) 宋は後に遊牧民族におされ、都を南に移した。
- 2 (1) A 現在の長岡京市(京都府)などにあった。
B 平安京に都が移されてから鎌倉幕府が成立するまでの約400年間を平安時代とよぶ。
D 蝦夷とよばれた東北地方の人々は、朝廷の支配に抵抗していた。

- 1 (1) A 桓武 B 蝦夷 C 天台宗 D 真言宗
E かな文字 F 寝殿
- (2) エ
- (3) ウ
- (4) ①エ ②イ
- (5) 摂政
- (6) エ
- 2 (1) (例) 娘を天皇の后とし、生まれた子どもを天皇にして勢力を伸ばした。
- (2) (例) 阿弥陀仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれ変わることができるように願う信仰。

解説

- 1 (1) C・D 最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めた。同じ時期に、空海は高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。F 寝殿を中心に複数の建物が廊下でつながっていて、庭園には池が設けられた。
- (2) 平城京はそのなかに多くの寺院があるが、桓武天皇は、平安京には東寺と西寺以外の寺は置かなかった。
- (3) 征夷とは、蝦夷を征伐するという意味である。
- (4) 延暦寺は比叡山(京都府・滋賀県)にあり、金剛峯寺は高野山(和歌山県)にある。
- (5) 藤原氏が摂政や関白の職につき、朝廷の実権を握って行った政治を摂関政治という。摂政は天皇が幼いときに天皇の政治を代行する職、関白は天皇が成人後に天皇の政治を補佐する職である。
- (6) 紫式部は長編小説の「源氏物語」を著した。アの「古今和歌集」は紀貫之らが編集した和歌集。イの「枕草子」は清少納言の随筆。ウの「万葉集」は奈良時代の和歌集である。
- 2 (1) 資料から、娘を天皇の后、その子どもを天皇にしていることを読み取って答える。
- (2) 「阿弥陀仏」「極楽浄土」という語句を用いること。阿弥陀仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれ変わろうとすることを答える。平安時代は、末法の時代(シャカの死から2000年がたち、仏教の力が衰えた時代)に入ると考えられ、社会が不安定でもあったことから、浄土信仰が盛んになり、地方の豪族にも広まった。

p.36~37

- 1 (1) 桓武天皇
- (2) X (例) 男性が女性より極端に少ない
Y (例) 男性は女性より負担が重い
- (3) ウ (4) B 摂政 C 関白 (5) イ
- (6) ア (7) エ
- 2 (1) ①A 天台 B 真言 ②a ア b エ ③イ
- (2) ① (例) 万葉集は日本語の音を漢字で表す万葉がなが使われ、古今和歌集はひらがなが使われている。
- ②C 紫式部 D 清少納言
- (3) ①寝殿造 ②イ
- (4) ア

解説

- 1 (2) 租は男女とも納めたが、調や庸は成人男子のみに課せられた。
- (3) 胆沢城が東北地方にあることから考える。東北地方には朝廷に従わない人々がいて、蝦夷とよばれた。坂上田村麻呂は征夷大將軍に任命され、蝦夷の拠点を攻撃し、東北地方への支配を広げた。
- (4) 摂政・関白の位に就いて政治を動かしたことから、藤原氏が行った政治を、摂関政治という。
- (5) アは奈良時代に遣唐使とともに唐に渡り、唐で位の高い役人になったが、帰国を果たせず亡くなった。ウは「古今和歌集」をまとめ、「土佐日記」を書いた。エは飛鳥時代に遣隋使として派遣された。
- (6) 新羅が滅んで高麗に代わり、唐が滅んで宋に代わった。
- (7) 娘と天皇との間に生まれた子を次の天皇にしたので、道長は天皇の祖父になった。
- 2 (1) ②比叡山延暦寺(滋賀県・京都府)は、「古都京都の文化財」、高野山金剛峯寺(和歌山県)は、「紀伊山地の霊場と参詣道」という世界遺産にふくまれている。③藤原頼通が京都の宇治に建てた。
- (2) ①「万葉集」は万葉がなが使われている。平安時代に、かな文字が発明され、日本語の発音を書き表しやすくなった。②紫式部も清少納言も、朝廷で天皇の后に仕えた女官。
- (3) ①中央にある主屋を寝殿という。②やぐらは見られない。
- (4) 平安時代の文化は国風文化とよばれる。

p.38~39

- 1 (1) ウ
(2) イ
(3) (例) 貨幣の大きさが小さくなり、質が低下したため、貨幣の信頼が低くなったから。
- 2 (1) 鎌足
(2) 3人
(3) (例) 藤原氏は自らの娘を天皇のきさきとし、その子どもを天皇にしたから。
(4) (例) この世は自分のものだと思う。満月のように欠けることなくすべてがうまくいっている。
- 3 (1) ア
(2) (例) 縄文時代の狩りや採集の生活から、農耕を中心とした生活に変わった。
(3) ①ウ ②イ

解説

- 1 (1) 和同開珎は、奈良時代に発行された日本初の本格的な貨幣であり、唐の開元通宝をモデルにして作られた。これは当時の日本が唐の高度な文化や制度を取り入れる中で、貨幣制度も模倣した結果である。
- (2) 和同開珎が発行された2年後に奈良時代となり、聖武天皇の命により国ごとに国分寺・国分尼寺が建てられた。アは弥生時代、ウは古墳時代、エは平安時代。
- (3) 資料から貨幣の大きさが小さくなっていることが読み取れる。貨幣が小さくなっているということは、使われる銅が少なくなり、質が低下しているということである。質が一定ではない貨幣の信頼は低下し、貨幣の流通は少なくなった。物々交換が主流となり、米や絹・布が実質的な貨幣として使われた。
- 2 (1) 中大兄皇子（後の天智天皇）と共に大化の改新を推進したのは中臣鎌足（後の藤原鎌足）である。
- (2) 摂政や関白は、天皇が幼少または女性のとき、あるいは成人したときかわりに政治を行う役職である。資料によると、摂政にも関白にもなった人物は兼家、道隆、頼通の3名である。
- (3) 藤原氏は、自らの娘を天皇のきさきとし、その子どもを天皇にすることで、天皇家との血縁関係を強化した。これにより朝廷の太政官の多くの役職を藤原氏が独占し、政治の実権をにぎった。
- (4) 藤原道長のよんだ歌「この世をばわが世とぞ

思う望月の欠けたることもなしと思えば」は、自分の権力が満ち足りていることを満月に例えて表現している。

- 3 (1) 弥生時代は、稲作が普及し、鉄製の農具や青銅器の技術が伝わった時代である。これにより、人々の生活や社会の様子が大きく変わった。中国の歴史書「漢書」地理志には、弥生時代の倭には、100余りの国があり、漢に使いを送る国もあったことが記されている。イは縄文時代、ウは古墳時代。エの「魏から金印があたえられた」のは卑弥呼で弥生時代だが、「仏教が伝わった」のは古墳時代なので誤り。
- (2) 縄文時代の人々は狩りや採集をして生活していた。弥生時代になると稲作が広まり、農耕を中心とした生活に変わった。これによりむらができ、やがて小さなむらをまとめる王が現れ、国ができた。
- (3) ①奈良時代の日本は、大宝律令に基づいて政治を行う律令国家であり、二官八省を中心に政治体制が整えられた。地方には、国ごとに国府が置かれ、国司が都から派遣された。国はさらに郡に分けられ、地方の豪族が郡司に任命された。アの初めて全国の戸籍を作ったのは天智天皇で飛鳥時代。イは藤原氏の摂関政治で平安時代、エは大和政権のころで古墳時代。②奈良時代には、口分田の面積に応じて収穫した稲の3%を納める租や、絹・糸・布もしくは特産物を納める調、労役のかわりに布を納める庸などの税があった。このうち、特産物を納める税は調である。

7 武士の世の始まり①

p.41

▶ 確認問題

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| ■ (1) 莊園 (しやうえん) | (2) 寄進 (きしん) |
| (3) 年貢 (ねんぐ) | (4) 僧兵 (そうへい) |
| (5) 武士 (ぶし) | (6) 武士団 (ぶしだん) |
| (7) 源氏 (げんじ) | (8) 平将門 (へいしやうもん) |
| (9) 藤原純友 (ふじわらのすみとも) | (10) 源義家 (げんぎしや) |
| (11) 奥州藤原氏 (おうしゅう) | (12) 後三条天皇 (ごさんじやうてんのう) |
| (13) 院政 (いんせい) | (14) 保元の乱 (ほうげんのらん) |
| (15) 平治の乱 (へいじのらん) | (16) 平清盛 (へいせい) |
| (17) ①大輪田泊 (おおわだのとり) ②日宋 (にっそう) | |
| (18) 源頼朝 (げんよりとも) | (19) 壇ノ浦 (だんのうら) |

解説

- (4) 有力な寺社は、莊園を守る目的で僧侶や莊園の農民を武装させた。
- (6) 貴族や皇族の子孫を統率者として、武士団がつくられた。
- (11) 源義家が都に引き上げた後、東北地方では奥州藤原氏が勢力を伸ばした。
- (17) 平氏は日宋貿易で大きな利益を上げた。
- (19) 都から落ちのびた平氏は、壇ノ浦(山口県)に追いつめられ、滅ぼされた。

p.42

●図表チェック●

- | | |
|------------|--------|
| 1 A 平将門 | B 藤原純友 |
| C 後三条 | D 上皇 |
| E 源義家 | F 後白河 |
| G 平治の乱 | H 源義経 |
| (1) ア | (2) 宋 |
| 2 (1) A 平氏 | B 源氏 |
| C 平泉 | |
| (2) A 太政大臣 | B 大輪田泊 |
| C 厳島 | |

解説

- 1 A 平将門は周辺の武士を率いて反乱を起こし、朝廷は武士団の力を借りてこれをしずめた。
- F 兄の崇徳上皇と弟の後白河天皇が対立し、保元の乱が起こった。
- G 平治の乱は、後白河上皇の政権内での争いで、平清盛が源義朝を倒し、政治の実権を握るきっかけとなった乱。平清盛と源義朝がともに後白河天皇に協力した保元の乱と間違えないように注意。
- (1) 中尊寺金色堂は岩手県の平泉にある。
- (2) 10世紀前半に唐が滅んだあと、10世紀後半に宋

が中国を統一した。

- 2 (1) C 2011年には中尊寺金色堂を含む「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園および考古学的遺跡群—」が世界文化遺産に登録された。
- (2) A 後には足利義満や豊臣秀吉も太政大臣に任じられた。
- B 現在の神戸市にあった。
- C 厳島神社は、古くから航海の神として信仰を集めていた。

p.43

▶ 必修問題

- 1 (1) A 年貢 B 棟梁 C 公領
D 保元 E 太政大臣 F 瀬戸内
- (2) ウ→ア→イ
- (3) ウ
- (4) エ
- (5) ①イ・エ ②高麗
- (6) エ
- 2 (1) (例) 天皇が位を譲って上皇となった後も政治を動かす体制。
- (2) (例) 娘を天皇と結婚させ、生まれた子を天皇にして朝廷とのつながりを強めた。

解説

- 1 (1) B 都の貴族出身であるなど血筋がよく、指導者としての能力に優れた者が棟梁となった。C 農民は、莊園では莊園領主に、公領では国司に年貢などを納めた。
- (2) ウは935年から、アは939年から、イは11世紀後半のこと。
- (3) 中尊寺金色堂には阿彌陀仏がまつられており、浄土信仰が都の貴族から地方へ広がっていたことを示している。
- (4) 平治の乱の際、12歳の源頼朝は処刑を免れ、伊豆(静岡県)に流された。
- (5) ②朝鮮半島では新羅が衰え、10世紀前半に高麗が統一した。
- 2 (1) 「位」という語句を用いること。天皇が位を譲って上皇となっても実権を握り、政治を動かす体制であることを答える。このような体制を院政といい、白河天皇が1086年に上皇になって始めた。白河天皇やその父である後三条天皇は、摂関政治を退けた。
- (2) 「娘」「天皇」という語句を用いること。娘を天皇と結婚させ、生まれた子を天皇にすることを答える。平清盛は藤原氏と同じく、天皇家と婚姻関係を結ぶことで朝廷とのつながりを強めた。

8 武士の世の始まり②

p.45

▶ 確認問題

- | | |
|----------------------|-----------|
| ■ (1) 源頼朝 | (2) 守護 |
| (3) 地頭 | (4) 御家人 |
| (5) 御恩 | (6) 奉公 |
| (7) 執権政治 | (8) 承久の乱 |
| (9) 六波羅探題 | |
| (10) 御成敗式目〔貞永式目〕 | |
| (11) 金剛力士像 | (12) 平家物語 |
| (13) 新古今和歌集 | (14) 方丈記 |
| (15) 徒然草 | |
| (16) ①浄土宗 ②浄土真宗 ③一向宗 | |
| (17) 禅宗 | (18) 日蓮宗 |
| (19) 一遍 | |

解 説

- (5)(6) 将軍は配下の武士の先祖伝来の領地を保護し、新しい領地を与えた(御恩)。御家人たちは合戦に出て戦ったり、京都・鎌倉の警備についたりする義務を負った(奉公)。
- (8) 承久の乱の際、北条政子は源頼朝の御恩を訴えて、御家人たちを戦いに立ち上がらせた。
- (11) 平安時代に強風で倒壊し、再建された東大寺南大門に、金剛力士像が納められた。
- (12) 平家一族の隆盛と衰退を描いた「平家物語」は、琵琶法師により語り伝えられた。
- (16) ①法然は、貴族の間に広まっていた浄土信仰の教えを徹底することを主張した。

p.46

● 図表チェック ●

- | | |
|-----------|---------|
| 1 A 征夷大將軍 | B 北条政子 |
| C 運慶 | D 後鳥羽 |
| E 北条泰時 | |
| (1) 宋 | (2) 執権 |
| (1) A 源義経 | B 藤原 |
| C 守護 | D 地頭 |
| E 北条 | F 六波羅探題 |
| (2) A 法然 | B 親鸞 |
| C 日蓮 | D 道元 |
- 問い ウ

解 説

- 1 A 源頼朝が鎌倉幕府を開いてから、約700年にわたって武家政治が続いた。
- D 後鳥羽上皇は、源氏の将軍が3代で絶えたのを、朝廷の勢力を取り戻す機会と考えて兵を挙げた。

(1) 中国の宋から、建築の新しい様式が取り入れられた。

- 2 (1)C 守護は地方で犯罪の取り締まりや、軍事の統制を行っていた。

F 六波羅探題には北条氏一族を置き、朝廷の監視や西国の武士の支配にあたらせた。

(2)B 親鸞は、阿弥陀仏にすべてをまかせる心が重要であると説いた。

D 道元は、座禅によって自分の力で悟りを開くという教えを説いた。

p.47

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A 鎌倉 B 政所 C 後鳥羽上皇
D 親鸞 E 一遍 F 禅宗
- (2) ①御家人 ②エ
- (3) ①守護 ②御成敗式目〔貞永式目〕
- (4) c エ d イ

- 2 (1) (例) (鎌倉幕府の勢力は、) 西国にまで及ぶようになった。
- (2) (例) 武士の気風に合った、力強く誰にでも分かりやすい文化。

解 説

- 1 (1) A 鎌倉は三方を山に囲まれ、南が海に面している、防衛に向いた地形であった。B 政所の長官を別当といい、後に北条氏が代々継いだ。D 親鸞は法然の弟子で、阿弥陀仏を信じてすべてをまかせる心が重要であると説いた。
- (2) 図のような主従関係をもとにする社会の制度を、封建制という。
- (3) 3代執権の北条泰時が御成敗式目を定めた。
- (4) 「方丈記」は鴨長明の随筆。「新古今和歌集」には武士から出家した西行、貴族の藤原定家らの歌が収められた。

- 2 (1) 鎌倉幕府の勢力が西国にも広がったことを答える。
- (2) 武士の気風を反映した力強い文化であることを答える。

p.48~49

- 1 (1) ウ (2) 院政 (3) ウ→ア→イ
 (4) ①カ ②イ
 (5) (例) 御家人が武芸の鍛錬に励んで合戦に備えること。／御家人が京都や鎌倉の警備をするなどの義務を負うこと。
 (6) 執権 (7) 後鳥羽上皇
 (8) ①エ ②エ
 (9) 御成敗式目〔貞永式目〕
- 2 (1) イ (2) ウ (3) ア (4) イ
 (5) 金剛力士像
 (6) ①A浄土宗 C時宗 ②親鸞 ③カ
 ④ (例) 座禅によって、悟りを開く。

解説

- 1 (1) 源義家は東北地方の反乱をしずめた。藤原鎌足は大化の改新で活躍した中臣鎌足のこと。
 (2) 白河天皇は、上皇となっても院で政治を行った。
 (3) 1156年、京都で天皇と上皇の争いである保元の乱が起り、平清盛・源義朝が味方した天皇側が勝利した。1159年、平治の乱で平清盛と源義朝が戦い、清盛が勝った。平氏が政権を握ったが、ほかの武士の不満が高まり、源氏が挙兵して、1185年、源義経が壇ノ浦で平氏を滅ぼした。
 (6) 源氏の将軍が3代で絶えた後、京都から形ばかりの将軍を迎えて、北条氏が執権政治を行った。
 (7) 敗れた後鳥羽上皇は、隠岐国(島根県)に流された。
 (8) ①承久の乱の前、幕府の勢力範囲は東日本が中心であったが、乱後は、西日本にも幕府の任命した地頭が多く置かれ、支配が広がった。
 (9) 御成敗式目は、執権北条泰時が定めた裁判の基準となる法律で、長く武家法の手本とされた。
- 2 (1) イ女子にも相続権があり、女性の地頭もいた。
 (2) ウ荘園領主に材木を納め、地頭に労役を課せられている。
 (3) 「徒然草」は、兼好法師が書いた随筆。
 (4) アは平安時代、ウは奈良時代の歌集。
 (5) 阿形と昨形の二体が門の左右に置かれている。
 (6) ④座禅は、心を落ち着かせることに適していたので、命懸けで戦う武士に受け入れられ、禅宗は幕府の保護を受けた。鎌倉にある建長寺や円覚寺は、禅宗の寺である。

9 武家政権の内と外①

p.51

確認問題

- 1 (1) モンゴル帝国 (2) 元
 (3) 大都 (4) 高麗
 (5) 北条時宗 (6) 蒙古襲来〔元寇〕
 (7) 防塁
 (8) 徳政令〔永仁の徳政令〕
 (9) 悪党
 (10) ①楠木正成 ②足利尊氏
 (11) 後醍醐天皇 (12) 北朝
 (13) 南朝 (14) 南北朝時代
 (15) 守護大名 (16) 足利義満
 (17) 室町幕府 (18) 管領
 (19) 鎌倉府

解説

- 1 (1) モンゴル帝国は、ユーラシア大陸の東西にまたがる広大な領域に支配を広げた。
 (6) 元側の兵士には、元に征服された宋や高麗の人々も多くいた。
 (11) 後醍醐天皇は活躍した武士より公家に恩賞を重くしたり、武士の社会の習わしを無視したため、建武の新政は短期間で失敗に終わった。
 (15) 守護大名のなかには、数か国を支配する有力な者もいた。

p.52

図表チェック

- 1 A チンギス=ハン B 元
 C 鎌倉幕府 D 建武の新政
 E 足利尊氏 F 足利義満
 (1) 御家人 (2) ウ
- 2 (1) Aモンゴル B大都
 C高麗 Dマルコ=ポーロ
 (2) A京都 B吉野
 C南北朝 D守護
 E管領

解説

- 1 B フビライ=ハンは都を大都(今の北京)に移した。
 E 建武の新政に不満をもった足利尊氏は、武家政治の復活を目指して兵を挙げた。
 (1) 徳政令が出された後も御家人の生活は上向かず、鎌倉幕府の権威は衰えていった。
- 2 (1)C 高麗は約30年にわたり元に対する抵抗を続け、この結果、元による日本襲来の時期は遅れた。

- (2)A 足利尊氏は京都に新しい天皇を立て、自分は征夷大將軍となった。
- C 南北朝の内乱は約60年間続いた。
- E 斯波氏・畠山氏・細川氏の三家が管領の職を占め、「三管領」とよばれた。

p.53

▶ 必修問題

- 1 (1) A九州 B後醍醐 C足利尊氏
D守護 E足利義満
- (2) ①フビライ=ハン ②ウ
- (3) ①文永の役 ②弘安の役
- (4) ウ
- (5) ①エ ②ア
- (6) 侍所
- (7) イ
- 2 (1) (例) 元軍との戦いは防衛戦であったため、幕府は御家人たちに恩賞の領地を十分に与えられなかったから。
- (2) (例) 武家のしきたりを無視したため。／天皇に権力を集めて新しい政策を打ち出したため。

解 説

- 1 (1) A元軍は対馬・壱岐を経て、九州北部の博多湾に襲来した。E足利義満は京都の室町に建てた「花の御所」に幕府を移した。
- (2) フビライ=ハンは日本に朝貢と服属を要求したが、鎌倉幕府8代執権北条時宗は拒否した。
- (3) 文永の役で元軍は博多湾に上陸したが、弘安の役では、博多湾岸に築かれた防塁や、御家人の奮闘により、元軍の上陸ははばまれた。
- (4) エは有力御家人だった。
- (5) 足利尊氏が京都に新しい天皇を立て（北朝）、後醍醐天皇は吉野（奈良県）に逃れた（南朝）。全国の武士はこれ以後北朝方と南朝方に分かれて、3代將軍足利義満が統一するまで、60年近くにわたって戦い続けた。
- (7) ア・ウ・エは鎌倉時代に北条氏が行った。
- 2 (1) 「恩賞」という語句を用いること。元軍との戦いが防衛戦であったことと、不十分な恩賞の2点について答える。
- (2) 武家のしきたりを無視した点、あるいは天皇に権力を集中させた点を答える。

10 武家政権の内と外②

p.55

▶ 確認問題

- (1) 倭寇 (2) 明
- (3) 朝貢
- (4) ①日本国王 ②日明 [勘合]
- (5) 勘合 (6) 朝鮮
- (7) ハングル (8) 宗
- (9) ①尚 ②琉球王国
- (10) 首里 (11) 中継貿易
- (12) 香辛料 (13) アイヌ文化
- (14) アイヌ (15) 十三湊
- (16) 和人 (17) 館
- (18) コシャマイン

解 説

- (1) 朝鮮半島や中国の沿岸に出没し、密貿易や海賊行為をしていた。
- (4) 明から「日本国王」に任命された足利義満は、明に朝貢する形式で貿易を始めた。
- (8)(9) 対馬の宗氏と琉球の尚氏を混同しないように気をつける。
- (13) 日本列島の北端では、人々は狩りや漁を中心とする生活を続けており、13世紀までにはアイヌ文化が形成された。

p.56

● 図表チェック ●

- 1 A 李成桂 B 足利義満
C 琉球王国
- (1) 倭寇 (2) ハングル
- (3) 和人
- 2 (1) A 明 B 勘合
C 朝鮮 D 対馬
問い ア
- (2) A 首里 B 東南
C アイヌ D コシャマイン

解 説

- 1 A 李成桂は、倭寇の撃退に功績を上げていた。
- C 沖縄では14世紀半ばに3つの王国が成立したが、15世紀に尚氏が統一した。
- 2 (1)B 明から与えられた勘合を日本船が明にもっていき、勘合に押された文字と印が原簿と照らし合わせて合っていれば、正式な貿易船と認められた。
- D 対馬の宗氏は、日本と朝鮮とをとり結ぶ役割を果たした。

- (2)A 首里は、現在の^な那覇市の一部である。
D コシャマインはアイヌ民族の指導者。争乱が
続くなかで、和人の居住地が限定されていた。

p.57

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A 足利義満 ^{かん} B 漢 C 朝貢
D 日明〔勘合〕 ^{なんぽくちやう} E 南北朝 F 李成桂
(2) ①ウ ②ア
(3) ハングル
(4) エ
(5) ア
(6) エ
- 2 (1) (例) 正式な貿易船であること。
(2) (例) 日本や東南アジアの特産物を明にも
っていき、その返礼で得た品を諸国に転売す
る貿易。

解説

- 1 (1) B 漢民族がモンゴル民族を北に追いはらい、明
を建国した。C 家臣の立場でみつぎ物を献上する
ことを、朝貢という。
(2) イの香料^{こうしんりやう}とオの象牙^{ぞうげ}は東南アジアの産物、エ
の鮭^{さけ}は蝦夷地^{えぞち}の産物である。
(5) アムール川は、中国とロシアの国境付近を流れ
る河川^{かせん}である。
(6) 安藤^{あんどう}（安東）氏^しは津軽^{つがる}地方^{ごうやく}の豪族^{ごうぞく}で、十三湊^{さんきやう}を
根拠地とした。
- 2 (1) 正式な貿易船であることの証明であることを書
く。明が悩まされていた倭寇と区別するためであ
る点を補足してもよい。
(2) 「返礼」という語句を用いること。日本や東南
アジアの特産物を明にもっていくことと、その返
礼で得た品を諸国に転売することの2点を答える。
日本の貿易は、自国の特産物を輸出し、自国で生
産できないものを相手国から輸入している。一方、
琉球王国は、東南アジアや日本から輸入したもの
を明にもっていき、明から返礼として得た品を転
売する中継貿易を行った。

11 人々の結びつきが強まる社会

p.59

▶ 確認問題

- 1 (1) 二毛作 ^{にもうさく} (2) 明銭 ^{みんせん}
(3) 定期市 ^{ていきいち} (4) 土倉 ^{どそう}
(5) ①馬借 ^{ばしやく} ②問 ^{とい} 〔問丸〕 ^{といまる}
(6) 関所 ^{せきしよ} (7) 正長の土一揆 ^{しやうちやう つちいつ き}
(8) 山城の国一揆 ^{やましろ くにないつ き} (9) 一向一揆 ^{いっかういっ き}
(10) 惣〔惣村〕 ^{そう} (11) 寄合 ^{よりあい}
(12) 座 ^ざ (13) 町衆 ^{ちやうしゆ}
(14) 応仁の乱 ^{おうにん らん} (15) 下廻上 ^{げまわしやう}
(16) 分国法 ^{ぶんこくほう} (17) 北山文化 ^{きたやま ぶんか}
(18) 水墨画 ^{すいぼく が} (19) お伽草子 ^{おがくさし}

解説

- 1 (1) 二毛作が行われるとともに、稲^{いね}の品種も増えて
いった。
(2) 日本では中世の間、貨幣^{かへい}はつくられなくなり、
中国の宋や明の銭が輸入され、流通していた。
(7) 正長の土一揆の際、借金^{かきん}を帳消しにしたことを
記した碑文^{ひぶん}が残っている。
(13) 町衆^{ちやうしゆ}は町の自治^{じち}を行い、幕府^{ばくふ}や大名^{だいみやう}からの干渉^{かんしやう}
に抵抗した。
(18) 雪舟^{せつしゆ}は明で水墨画を学んだ。

p.60

● 図表チェック ●

- 1 A 足利義満 ^{あしかがよしみつ} B 雪舟 ^{せつしゆ}
C 応仁 ^{おうえん} D 足利義政 ^{よしまさ}
(1) 世阿弥 ^{ぜあみ} (2) 書院造 ^{しやういんづくり}
(3) 戦国大名 ^{せんごく}
- 2 (1) A 馬借 ^{ばしやく} B 土 ^{つち}
C 土倉 ^{どそう} D 一向 ^{いっかう}
E 惣〔惣村〕 ^{そう} F おきて ^{おきて}
(2) A 金閣 ^{きんかく} B 禅宗 ^{ぜんしゆ}
C 銀閣 ^{ぎんかく} D 枯山水 ^{かれさんすい}
問い ア

解説

- 1 A 足利義満のつくった金閣^{きんかく}は、寝殿造^{しんでんづくり}と禅宗寺院^{ぜんしゆじいん}
の様式を合わせもつ建築物だった。
D 足利義政は京都の東山に銀閣をつくった。
(3) 応仁の乱のころから戦国時代となり、戦国大名
が各地で生まれた。
- 2 (1) B 徳政令^{とくせいれい}による借金^{かきん}の帳消しを要求した。
C 土倉とよばれる質屋^{しちや}や酒屋^{さかや}が、京都で金貸し
を営んで栄えた。
(2) B 禅宗^{ぜんしゆ}は京都や鎌倉^{かまくら}の重要寺院を中心に、幕府

の保護を受けて栄えていた。

p.61

▶ 必修問題

- 1 (1) A二毛作 B寄合 C定期市
D座 E足利義政 F応仁
(2) エ
(3) 惣〔惣村〕
(4) イ
(5) 能
(6) ウ
(7) 書院造
(8) 町衆
(9) 分国法
- 2 (1) (例) 借金の帳消し。
(2) (例) 下の身分の者が上の身分の者に実力で打ち勝ち、権力を得るという風潮。

解説

- 1 (1) C鎌倉時代に月3回開かれていた定期市は、室町時代には月6回開かれるようになった。F応仁の乱は1467年から11年間続いた。都の戦乱を逃れて公家や僧などが地方に移り住んだため、都の文化が地方にも広まった。
- (2) 水車を使って、川の水をくみ上げて田へ引いたり、ため池をつくったりするかんがい技術が普及した。
- (4) アの馬借は車借とともに陸上の運搬を担った。ウの土倉(質屋)やエの酒屋は高利貸しを行った。
- (5) 能は、足利義満の保護を受けた観阿弥・世阿弥が完成させた。また、能の合間には狂言とよばれる喜劇も演じられた。
- (7) 書院造には床の間が設けられ、書画や生け花などがかざられた。
- (9) 分国法は、戦国大名が領内の武士と農民を支配するために定めた、独自の法である。
- 2 (1) 借金をなくすということを答える。資料中の「ヲキメ(負目)」とは借金のこと。
- (2) 下の身分の者が上の身分の者に実力で打ち勝って、権力を得ることを答える。

定期テスト 得点UP 問題 9~11

p.62~63

- 1 (1) ア (2) イ→ウ→ア (3) 後醍醐天皇
(4) エ (5) 足利義満 (6) 勘合貿易
(7) 琉球
(8) (例) 将軍の跡継ぎ争いをめぐって、有力な守護大名が対立したこと。
(9) 下剋上 (10) ウ
- 2 (1) (例) 分割相続で一人あたりの土地が小さくなり、武士の生活が苦しくなったから。
(2) エ (3) ア
(4) ①A北山 B東山 ②イ ③世阿弥 ④ウ
⑤雪舟 ⑥狂言

解説

- 1 (1) チングス=ハンはモンゴル民族を統一してモンゴル帝国を建てた人物。フビライ=ハンはその孫。北条泰時は御成敗式目を制定した3代執権。
- (2) 1274年の文永の役(一度目の元寇)、1281年の弘安の役(二度目の元寇)などで御家人の生活が苦しくなったため、1297年に永仁の徳政令が出された。
- (3) 後醍醐天皇は、武士のしきたりを無視し、天皇に権力を集めたことで批判され、建武の新政は約2年半で終わった。
- (4) 執権は鎌倉幕府での将軍の補佐役、六波羅探題は鎌倉時代に京都に置かれた。
- (5) 3代将軍で、幕府の力を強めた。
- (6) 倭寇と正式な貿易船とを区別するために、勘合という合い札が用いられた。
- (10) 戦国大名は、領国を自分の領地として治め、軍事力を高めようとした。
- 2 (1) 資料1では分割相続、資料2では単独相続となっている。
- (2) エの馬借は陸上の運送業者、問は港町で活躍した運送業者。高利貸しを営んだのは、土倉・酒屋である。
- (3) 浄土真宗のことを一向宗ともいう。正長の土一揆は、1428年に近江の馬借が中心となって、土倉や酒屋を襲って借金証文などを破り捨てた。
- (4) ①北山は金閣のある京都北部、東山は銀閣のある京都東部の地域のよび名。②金閣は3層で金箔が貼られている。アの銀閣は2層で銀箔は貼られていない。③観阿弥・世阿弥は父子で、足利義満の保護を受けた。④寝殿造は平安時代の貴族の屋敷の建築様式。

p.64~65

- 1 (1) (例) 征夷大將軍に任命される前から支配下にあった東国の国であること。
- (2) ①3 ②イ
- (3) (例) 上皇に味方した貴族や武士から取り上げ幕府の勢力を広げるため。
- (4) イ
- 2 (1) (例) へいや堀で防御を固める。
(例) 武芸の訓練をする場所がある。
- (2) (例) 仏を信じる心を重視し、念仏や題目を唱えるだけで救われると説いたため。
- 3 (1) (例) 荘園の管理や年貢の徴収すること。
- (2) 下地中分
- (3) (例) 同じ田畑で、秋に米を収穫したあと、冬に麦を作る農業。
- (4) (例) 守護が強い権限を持つようになり、領地を拡大したり、多くの家来を持ったりして、守護大名と呼ばれるようになった。
- 4 (1) 元寇
- (2) (例) 火薬を使った武器を使用し、集団戦法を用いた。
- (3) イ

解説

- 1 (1) 承久の乱(1221年)は、朝廷の勢力の回復を目指した後鳥羽上皇が、幕府をたおすために挙兵した戦いである。源頼朝は東国の武士を従えていたため、東国全域から御家人を動員した。東国全域とは、現在の東北地方から東海地方にかけての地域を指す。
- (2) 幕府軍は3つの進路に分かれて京都に攻めのぼり、上皇側を打ち破った。敗れた後鳥羽上皇は、隠岐に流された。
- (3) 承久の乱の後、幕府は西日本の上皇方の領地を取り上げ、新たに御家人を地頭に任命することで勢力範囲を拡大した。地頭は荘園の管理と年貢の徴収を担当し、幕府の統治を支えた。
- (4) 六波羅探題は、承久の乱の後に幕府が設置した機関で、京都の治安維持と西国の統治を強化することが目的であった。
- 2 (1) 武士は、「弓馬の道」や「武士の道」と呼ばれる武士としての心構えを大事にし、常に笠懸や流鏑馬、犬追物などの武芸によって心身をきたえていたため、館の中にも武芸の訓練ができる場所があった。また、へいや堀によって館の防御を固

めていた。

- (2) 鎌倉時代には、新しい仏教の教えが多くの人々の心をとらえた。この時代の新仏教は、厳しい修行を必要とせず、仏を信じる心を重視し、念仏や題目を唱えることでだれでも救われると説いたため、多くの民衆に受け入れられた。「一遍聖絵」にえがかれている一遍は、時宗の開祖であり、人々に念仏札を配ったり、念仏におどりを取り入れた踊念仏をしたりして、人々に念仏を広めた。
- 3 (1) 鎌倉時代の地頭は、全国の荘園・公領に置かれ、荘園の管理や年貢の徴収を担当した。地頭は現地での実務を担い、幕府の統治を支えた。
- (2) 鎌倉時代中期以降、荘園の年貢を徴収する役割だった地頭が、次第に荘園を支配するようになり、荘園領主との間で争いが絶えなくなった。争いは幕府の裁判にかけられ、地頭に荘園の半分の支配権が認められることもあった。
- (3) 鎌倉時代には、農業に牛や馬が使われるようになり、鉄製の農具や草や木の灰を肥料にする草木灰の利用が広まるなど、農業が発展した。
- (4) 室町時代になると、守護は領国内での軍事費の取り立てなど、幕府から強い権限があたえられ、多くの荘園を自分の領地とし、国内の武士を家来として従えるようになった。これにより、守護は地域での支配権を強化し、守護大名と呼ばれるようになった。
- 4 (1)(2) 元寇(1274年と1281年)は、元(モンゴル帝国)が2度にわたって日本に侵攻したできごとである。元軍は船上から弓矢やてつはうと呼ばれる火薬を使った爆発物で攻撃し、上陸後には集団戦法を用いて日本軍を苦しめた。
- (3) 承久の乱は1221年。南北朝の統一は1392年。高麗が滅び、朝鮮国が成立したのも1392年。アの十字軍の遠征が始まったのは11世紀。イのローマ帝国の成立は紀元前27年。エの唐の滅亡は907年。

p.66～67

- 1** (1) (例) 農業の生産が高まった
 (2) ウ
 (3) ①秦 ②始皇帝
 ③ (例) 匈奴などの北方の遊牧民の侵入を防ぐため。
- 2** (1) 文明：メソポタミア文明 場所：B
 (2) (例) 大河の流域に文明が発展し、独自の文字を持っていた点。
 (3) (例) ナイル川が毎年はんらんし、あとに養分の多い土を残すため、農業が発達したから。
- 3** (1) エルサレム
 (2) ローマ教皇
 (3) 十字軍
 (4) イ

解説

- 1** (1) 春秋・戦国時代には鉄器が出現し、社会に広まった。鉄器の出現で、森林の伐採が効率的に行えるようになり、農地が増加した。
 (2) 紀元前6世紀ごろに孔子が説いた儒学（儒教）は、その後朝鮮や日本に伝えられ、人々の考えや社会のあり方に大きな影響をあたえた。
 (3) ①②紀元前3世紀に春秋・戦国時代の小国の1つであった秦の王が、中国を統一した。この人物は、統一後に「始皇帝」と名乗った。始皇帝は貨幣や文字、長さ・容積・重さの基準を統一し、政治に関する書物や儒学の学者を厳しく取りしまった。
 ③戦国時代に造られ始めた城をつないで築いた城壁は「万里の長城」と呼ばれる。これは中国の北方に位置し、匈奴などの遊牧民の侵入を防ぐために建造された。
- 2** (1) 資料はメソポタミア文明の代表的な都市ウルのジグuratである。ウルはユーフラテス川下流域に位置する。ジグuratは聖塔であり、頂上には神殿が設けられていた。
 (2) メソポタミア文明は、チグリス川とユーフラテス川にはさまれた地域で発展し、くさび形文字を発明した。エジプト文明は、ナイル川の近辺で発展し象形文字を発明した。インダス文明は、インダス川の近辺で発展し、インダス文字を発明した。中国文明では黄河と長江の流域で発展し、現在の漢字のもととなった甲骨文字が発明された。この

ように古代文明はいずれも大河の近辺で発展し、独自の文字を使用していた。

- (3) エジプトでは、毎年ナイル川がはんらんし、水が引いたあとの土地に養分の多い土を残すため、農耕が発達した。この様子を歴史家のヘロドトスは「エジプトはナイルのたまもの」と表現した。紀元前3000年ごろには国々が統一され、神殿やピラミッドが造られた。
- 3** (1) 11世紀にイスラームの国家に占領されたキリスト教の聖地はエルサレム。11世紀に成立したイスラーム国家は、イラン・イラク・シリアを支配し、現在のトルコまで支配地域を拡大した。
 (2) カトリック教会の頂点に立つ地位はローマ教皇である。彼はキリスト教世界の精神的な指導者として、ヨーロッパ各国の王たちに影響をあたえた。
 (3) キリスト教の信者らによる軍隊は「十字軍」と呼ばれる。十字軍は、聖地エルサレムをイスラームから奪回するために結成された。
 (4) 十字軍の遠征の結果、東西の交流が進み、ヨーロッパで学術・文化が発展した。十字軍は中東からさまざまな知識や技術を持ち帰り、ルネサンスの基礎を築いた。

12 大航海によって結びつく世界

p.69

▶ 確認問題

- (1) カトリック教会
- (2) ローマ教皇 [ローマ法王]
- (3) ルネサンス [文芸復興]
- (4) 羅針盤 (5) 免罪符 [贖宥状]
- (6) ルター (7) プロテスタント
- (8) イエズス会 (9) 香辛料
- (10) スペイン (11) コロンブス
- (12) インド (13) ポルトガル
- (14) インカ帝国
- (15) ①種子島 ②国友
- (16) 南蛮貿易 (17) 銀
- (18) フランシスコ・ザビエル [ザビエル]
- (19) キリシタン

解 説

- (4) 地理学と羅針盤の活用が、後のヨーロッパの新航路開拓のきっかけとなった。
- (5) カトリック教会は、免罪符を買えば罪に対する神の罰が軽くなると信者にすすめ、資金を集めた。
- (8) イエズス会は、アジアやアメリカに宣教師を送った。
- (11) コロンブスは「地球は丸い」という考えに基づいて、西に航海すればアジアに着くと考えて出航し、西インド諸島に到達した。
- (15) ①種子島に漂着したポルトガル人は、倭寇の船に乗っていた。

p.70

● 図表チェック ●

- ① A 十字軍 B コロンブス
- C バスコ＝ダ＝ガマ D 宗教改革
- E マゼラン F キリスト
- (1) エルサレム (2) ウ
- ② (1) A ルネサンス [文芸復興] B 香辛料
- C コロンブス D スペイン
- E バスコ＝ダ＝ガマ F ポルトガル
- (2) A 鉄砲 B 堺
- C イエズス D 南蛮

解 説

- ① D ルターはカトリック教会を批判し、聖書を中心とする宗教改革の運動を進めた。宗教改革を進めた新教徒は、「抗議する者」という意味でプロテスタントとよばれた。
- (1) 十字軍は、イスラム教徒の領土になっていた聖

地エルサレムを奪い返すことを目的とした。

- ② (1) A 古代ギリシャ・ローマの文明を学び直す動きがおこった。
- D 16世紀に領土を広げたスペインは、一時はポルトガルも併合した。
- (2) B 堺 (大阪府) や国友 (滋賀県) など、刀鍛冶職人による鉄砲生産が行われた。

p.71

▶ 必修問題

- ① (1) A 十字軍 B イタリア
- C ポルトガル D イエズス
- E オランダ
- (2) ①マゼランの一行 ②バスコ＝ダ＝ガマ
- ③コロンブス
- (3) ウ
- (4) イ
- (5) ア・エ
- ② (1) (例) 古代ギリシャ・ローマの文化を理想とする風潮。／人間の個性や自由を表現しようとする文化を理想とする風潮。
- (2) (例) イスラム商人を通さずに、アジアから直接香辛料を手に入れるため。

解 説

- ① (1) A 十字軍遠征は2世紀にわたって繰り返された末に失敗に終わった。D イエズス会のザビエルは、鹿児島・山口などで布教し、2年余りで日本を去った。
- (2) ヨーロッパから西へ向かったのがコロンブスとマゼランの一行、アフリカ大陸沿いに南下してから東のインド洋へ回ったのがバスコ＝ダ＝ガマ。
- (5) ポルトガル人・スペイン人を南蛮人とよび、これらの商人との貿易は南蛮貿易といわれた。南蛮人は、明の生糸や絹織物など、ヨーロッパの鉄砲や火薬、時計、ガラス製品などを日本にもたらし、日本からは銀が運ばれた。16～17世紀、世界の銀の産出量の約3分の1を日本の銀が占めた。当時、日本の銀の最大産地は石見銀山 (島根県) であった。
- ② (1) 古代のギリシャ・ローマの文化、あるいは個性や自由の表現を理想とした風潮であることを答える。
- (2) アジアとの直接の貿易を目指したことを答える。

13 戦乱から全国統一へ

p.73

▶ 確認問題

- (1) 今川義元 (2) 織田信長
 (3) 長篠の戦い
 (4) 比叡山延暦寺〔延暦寺〕
 (5) 安土城 (6) 楽市・楽座
 (7) 本能寺の変 (8) 大阪城
 (9) 刀狩 (10) 太閤検地
 (11) 兵農分離 (12) 朝鮮
 (13) 桃山文化 (14) 姫路城
 (15) 千利休
 (16) ①南蛮文化 ②ポルトガル
 (17) 活版印刷 (18) かぶき踊り
 (19) 三味線

解説

- (2) 織田信長は将軍足利義昭を援助して京都に上ったが、後に義昭を京都から追放し、室町幕府を滅ぼした。
 (6) 商工業を活発にするための政策である。
 (10) 年貢を確実に取るため、耕地ごとに実際に耕作する農民を検地帳に登録した。
 (15) 茶の湯は大名や大商人たちの間で流行した。
 (17) キリスト教の布教に必要な書物や「平家物語」、「イソップ物語」などが、活版印刷で出版された。

p.74

● 図表チェック ●

- 1 A 桶狭間 B 足利義昭
 C 豊臣秀吉 D 千利休
 E 文禄 F 慶長
 (1) 関白 (2) 桃山文化
 2 (1) A尾張 B比叡山延暦〔延暦〕
 C石山本願 D長篠
 E鉄砲 F明智光秀
 (2) A楽市 B安土
 C座 D刀狩
 E一揆 F年貢

解説

- 1 C 豊臣秀吉は、1590年に北条氏を滅ぼし、東北の大名も従えて全国統一を達成した。
 D 千利休は質素で静かな雰囲気を重ねるわび茶の作法を完成させた。
 E 朝鮮南部で、李舜臣の水軍が日本の軍勢を打ち破った。
 2 (1) B 浅井氏・朝倉氏と手を結んだ比叡山延暦寺を

焼き討ちにした。

- D 織田信長は足輕の鉄砲隊を配し、武田の騎馬軍に勝利した。
 (2) B 琵琶湖の南岸に5層7階の天守をもつ安土城を築いた。

p.75

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A今川義元 B関所 C楽市・楽座
 D仏教 Eキリスト教 F李舜臣
 (2) ウ
 (3) エ
 (4) 刀狩
 (5) 石
 (6) イ・エ
 2 (1) (例) 大量の鉄砲を用いているから。
 (2) (例) 武士と百姓の身分を明確に区別する政策。

解説

- 1 (1) C座を廃止し、市場での税を免除した。D信長は比叡山延暦寺の焼き討ちや、石山本願寺を降伏させるなどした一方、キリスト教は貿易による利益などのため保護した。
 (2) 織田信長は足利義昭を将軍に立てたが、後に対立するようになり、義昭を京都から追放した。これにより室町幕府は滅んだ。
 (3) アの雪舟は室町時代に日本の風景を水墨画に描いた禅僧の画家、イの千利休はわび茶を完成させた人物、ウの出雲の阿国はかぶき踊りを始めた女性である。
 (5) 太閤検地で、秀吉は、升や物差しを統一し、田畑の広さや土地のよしあしを調査して、米の体積を示す石という単位を用いて収穫高を表した。
 (6) 活版印刷は活字を組んで印刷する技術。天正遣欧少年使節や秀吉の朝鮮への出兵によって日本にもたらされた。
 2 (1) 鉄砲を用いていることを答える。Bは武田勝頼の軍を示している。織田・徳川連合軍は、突進を防ぐ柵と大量の鉄砲を効果的に用いて、武田軍に勝利した。
 (2) 武士と百姓の身分の分離について答える。

p.76~77

- 1 (1) ア (2) 宗教改革 (3) イ
(4) ①フランシスコ＝ザビエル [ザビエル]
②ウ
(5) ウ→ア→イ (6) ローマ教皇[ローマ法王]
(7) ①ウ
② (例) 百姓から武器を取り上げて、一揆を起こさせないようにすること。
- 2 (1) ①ウ ②ア ③ルネサンス
(2) ①イ ②ア ③エ
(3) ①イ ②bエ cウ ③南蛮 ④ポルトガル

解説

- 1 (1) コロンブスはスペインの支援を受けた。バスコ＝ダ＝ガマはポルトガル人。マゼランはスペイン船隊を率いて世界一周を試みた。
(2) ルターらの考えを支持したキリスト教徒はプロテスタントとよばれた。
(4) ①フランシスコ＝ザビエルはスペイン人で、イエズス会の宣教師。②バテレン追放令が出された1587年以降も信者は増えている。
(5) 1560年に桶狭間の戦いで駿河の今川義元を破った織田信長は全国統一を目指し、京都に上って1573年に室町幕府を滅ぼした。さらに各地の戦国大名を平定しようと1575年の長篠の戦いで甲斐の武田勝頼を破った。
(7) ①石は米の体積を表す単位。土地の所有者だった公家や寺社の権利は失われた。
- 2 (1) ①エルサレムは、現在のイスラエルにある。②絹は漢の時代にはシルクロードを通して西方に伝えられていた。
(2) ①ア・イ座は、税や品物を納める代わりに寺社や貴族の許可を得て営業を独占していた。資料の薬市令ではこれを廃止した。ウ・エこの町＝安土に泊まるように定めている。信長は関所も廃止し、交通を活発にしようとした。③ア・ウは日明貿易(勘合貿易)での日本の輸出品。イは室町時代から京都で生産されていた。
(3) ①ア安土桃山時代には、城は小高い丘や平地につくられた。権力を示すため、城の内部は豪華なふすま絵や屏風絵で飾られた。ウ石垣の上に築かれた。エ安土城は焼失し、現存しないため、世界遺産ではない。②アはわび茶、イは室町時代に能を完成した人物。③④スペイン人・ポルトガル人を南蛮人とよんでいた。

p.78~79

- 1 (1) 国名：ポルトガル 地域：B
国名：スペイン 地域：A
(2) バスコ・ダ・ガマ
(3) (例) 陸路の貿易はムスリム商人などがにぎっていたため、香辛料を直接手に入れるために海路でインドを目指した。
(4) (例) アフリカの人々を奴隷としてアメリカ大陸に連れて行き
- 2 (1) 百姓
(2) エ
(3) (例) 農業に専念させるため。
(例) 一揆を防止するため。
- 3 (1) 織田信長
(2) 桶狭間
(3) ①鉄砲 ②左側
(4) (例) 都である京都に近く、琵琶湖の水運も利用できたため。
(5) (例) 安土の市で税金を免除し、座を廃止する政策。

解説

- 1 (1) スペインとポルトガルは、キリスト教を広めることや当時高価であったアジアの香辛料を手に入れることを目的として海路の開拓を進めた。
(2) ポルトガルのバスコ・ダ・ガマはアフリカの南端を回ってインドに到達し、ヨーロッパとインドが海路で直接つながった。
(3) 13～14世紀のヨーロッパにおいて、アジアの香辛料は重宝されたが、その交易は地中海で活発に活動していたイタリア商人やムスリム商人がにぎっていたため高価であった。このため、直接香辛料を手に入れる交易路の開拓が進められた。
(4) ヨーロッパの国々はアメリカ大陸で、先住民に労働を強いて、銀の採掘や砂糖の生産をしたが、伝染病や過酷な労働で先住民の人口は激減した。労働力が不足するようになると、ヨーロッパ人はアフリカの人々を奴隷としてアメリカ大陸に連れて行った。
- 2 (1) 豊臣秀吉の政策である太閤検地と刀狩は百姓に対して行われた。太閤検地によって百姓は土地を耕作する権利が保障され、年貢を納めることが義務付けられた。また、刀狩によって百姓は武器を持つことが禁じられた。
(2) 検地帳には面積、予想される収穫量、耕作者、

田畑の等級が記されていた。検地により^{しやうえん}荘園領主の権利は否定され、荘園は消滅した。

- (3) 刀狩令の目的は、百姓を耕作に従事させることと、一揆の防止であった。太閤検地や刀狩令などの政策によって、武士と百姓の身分の区別が明確になった。

3 (1)(2) 1560年、織田信長は桶狭間の戦いで^{するがのくに}駿河国(静岡県)の^{いまがわよしもと}今川義元を破り、勢力を広げた。

- (3) ①^{ながしの}長篠の戦いで、信長は鉄砲を有効に使用し、^{か いのくに}甲斐国(山梨県)の^{ただ かつより}武田勝頼を破った。

②大量の鉄砲を用いている左側の軍が^{とくがわ}織田・徳川の連合軍。

- (4) 安土は京都にも近く、琵琶湖の水運も利用でき、^{ほくりく}北陸にも^{とうかい}東海にも出やすい立地であった。

- (5) 信長は、1577年に安土に^{らくいち}樂市令を出し、市での税金を免除し、特権的な座を廃止した。

14 武士による全国支配の完成

p.81

▶ 確認問題

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ■ (1) ^{せき が はら} 関ヶ原の戦い | (2) ^{とよとみ} 豊臣氏 |
| (3) ^{ばくはん} 幕藩体制 | (4) ^{しんぱん} 親藩 |
| (5) ^{ぶ け しよほう と} 武家諸法度 | (6) ^{さんきんこうたい} 参勤交代 |
| (7) ^{きんちゆうけい け せよほう と} 禁中並公家諸法度 | (8) ^{つしま} 対馬 |
| (9) ^{しゆいんせん} 朱印船貿易 | (10) ^{にほんまち} 日本町 |
| (11) ^{しまばら あまくさいつ き} 島原・天草一揆 | (12) ^{ポルトガル} |
| (13) ^{さ かく} 鎖国 | |
| (14) ① ^{で じま} オランダ ② ^{で じま} 出島 | |
| (15) ^{しん} 清 | (16) ^{ちやうせんつうしん し} 朝鮮通信使 |
| (17) ^{りゅうきやう} 琉球 [琉球王国] | (18) ^{まつまえはん} 松前藩 |
| (19) ^{シャクシャイン} | |

解 説

- (1) 全国の政治を指揮する力を強めた^{とくがわいえやす いし}徳川家康に^{だ みつなり}石田三成らが反発し、関ヶ原の戦いが起こった。
- (5) 大名が同盟を結んだり、無断で城を修理したりすることなどを禁止した。
- (14) 幕府は、オランダに毎年、オランダ^{ふうせつがき}風説書を提出させ、海外の情報を集めた。
- (18) 松前藩はアイヌ民族に対して不利な交易を強いた。

p.82

● 図表チェック ●

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1 A ^{じん} 石田三成 | B ^{で じま} 徳川家康 |
| C ^{お だい} 大阪の陣 | D ^{で じま} 出島 |
| E ^{シャクシャイン} | |
| (1) ^{ばくりやう} 幕領 | (2) ^{ぶ け しよほう と} 武家諸法度 |
| (3) ^{ふう だいい} オランダ風説書 [風説書] | |
| 2 (1) A ^{しん} 親藩 | B ^{ふん だい} 譜代大名 |
| C ^{と ぎま} 外様大名 | D ^{え じ} 江戸 |
| E ^{さんきんこうたい} 参勤交代 | F ^{お て づだい ふ しん} 御手伝普請 |
| (2) A ^{しゆいんせん} 朱印船 | B ^{にほんまち} 日本町 |
| C ^{そう} 宗 | D ^{ちやうせんつうしん} 朝鮮通信使 |
| E ^{りゅうきやう} 琉球 | |

解 説

- 1 C ^{はろ}徳川家康は大阪城を攻めて豊臣氏を滅ぼし、徳川氏による支配を確立した。
- (2) 1635年の武家諸法度の改定時に、参勤交代の制度が追加された。
- 2 (1) A・B ^{しん}親藩や^{ふん だい}譜代大名は、幕府にとって重要な^{きん ぎ}関東・近畿などに置かれた。
- C・D ^{はな}外様大名は江戸から離れた九州・東北などに配置された。

F 木曾三川の治水工事を薩摩藩（鹿児島県）が命じられ、多額の負担を強いられた。御手伝普請は各藩にとって重い負担であった。

(2)E 琉球は1609年に薩摩藩によって征服された。

p.83

必修問題

1 (1) A 関ヶ原 B 幕藩 C 外様
D 朱印船 E 絵踏 F 宗門改め

(2) 老中

(3) X 武家諸法度 Y 徳川家光

(4) ①エ→イ→ア→ウ

②対馬藩 ウ 薩摩藩 オ

2 (1) (例) キリスト教の布教活動をしなかったから。

(2) (例) 品物を交換する際の比率がアイヌ民族にとって不利なものになったから。

解説

1 (1) B 将軍と大名が主従関係を結び、幕府と藩が全国の土地と人民を支配する体制である。D 幕府は貿易を行う大名や商人に対して海外への渡航を許可する朱印状を与え、収入の一部を幕府に納めさせた。

(2) 管領は室町幕府、執権は鎌倉幕府の職。摂政は天皇が幼いころに代わりに政治を行う朝廷の職である。

(3) 3 代将軍徳川家光は、参勤交代の制度を定めたり、鎖国を完成させたりするなど、幕府の重要な政策に関わった。

(4) ①アは1637年、イは1635年、ウは1639年、エは1613年のできごと。1641年には平戸のオランダ商館を長崎の出島に移している。②対馬藩は朝鮮と、薩摩藩は琉球王国と交易を行った。

2 (1) キリスト教の布教をしないということを答える。スペインやポルトガルは、貿易だけでなく、キリスト教の布教も目的として海外に進出していたが、オランダは貿易を優先して布教活動を行わなかった。

(2) 「比率」という語句を用いること。交換比率がアイヌ民族に不利となったことを答える。資料から干鯨100匹に対する米の比率が下がっており、アイヌ民族にとって不利な取引引きとなっていることが分かる。以前のような取引引きに戻そうと、アイヌ民族はシャクシャインを中心に立ち上がり戦ったが、幕府の支援を受けた松前藩に鎮圧された。

15 天下泰平の世の中

p.85

確認問題

- 1 (1) 武士 (2) 百姓
(3) 五人組 (4) 町人
(5) ①徳川綱吉 ②朱子学
(6) 新田開発 (7) 備中鉾
(8) 干鰯 (9) 特産物
(10) 銀 (11) 五街道
(12) 西廻り航路 (13) 江戸
(14) 大阪 (15) 蔵屋敷
(16) 株仲間 (17) 元禄文化
(18) 近松門左衛門 (19) 浮世絵

解説

2 百姓たちは、室町時代からの惣の伝統を受け継いで農村の自治を行っていた。

(5) ①徳川綱吉の政治は武道より学問を重んじた点で、文治政治とよばれた。②幕府は人材育成のために、朱子学を武士に学ばせることとした。

(8) 干鰯は栄養価が高いため、綿花や藍などの栽培に用いられた。

(15) 蔵屋敷は、年貢米や特産物を保管する倉庫や、取引所として使用された。

p.86

図表チェック

- 1 A 徳川綱吉 B 浮世
C 松尾芭蕉 D 近松門左衛門
(1) 文治政治 (2) 俳諧
2 (1) A 武士 B 百姓
C 町人 D 水呑百姓
E 朱子学 F 元禄
(2) A 大阪 B 菱垣廻船
C 東廻り D 北前船
E 東海道 F 佐渡

解説

1 C 松尾芭蕉は各地を旅しつつ、俳諧を芸術にまで高めていった。

D 近松門左衛門は、義理と人情の板ばさみに悩む男女の様子を描いた。

(1) 徳川綱吉は湯島（東京都）の聖堂に孔子をまつり、儒学を盛んにした。

2 (1)A 武士と町人は町に、百姓は村にというように、住む場所も固定された。

C 町人が課せられた営業税は、百姓の年貢よりは軽い負担だった。

- (2)B 菱垣廻船や樽廻船は、菜種油・木綿・酒・しょうゆなどの日用品を江戸へ輸送した。
- E 東海道などの五街道には關所が置かれ、人々の通行を管理した。

p.87

▶ 必修問題

- 1 (1) A新田開発 B特産物 C蔵屋敷
D徳川綱吉 E文治 F朱子学
- (2) ア
- (3) 株仲間
- (4) 両替商
- (5) 武士
- (6) ①ア・エ
②X菱川師宣 Y松尾芭蕉
- 2 (1) (例) 年貢を確実に納めさせるため。
(2) (例) 土地を深く耕すことができる。

解説

- 1 (1) B特産物は一部が領外にも売られるようになった。F朱子学は上下関係を重んじるため、幕府の支配に都合がよかった。
- (2) イの土佐やウの紀伊では、かつおや鯨などの漁が盛んだった。エの赤穂では塩が生産された。
- (4) 両替商は、金銀の交換や金銀と銭の交換のほか、金貸しや為替の取り引きなどを行った。このような金融業は特に大阪で発達した。
- (6) ②近松門左衛門は人形浄瑠璃や歌舞伎の台本を書いた。尾形光琳は屏風や蒔絵などに華やかな装飾画を描いた。井原西鶴は浮世草子とよばれる小説を書いた。関孝和は和算とよばれる日本式の数学を確立した。
- 2 (1) 百姓が課せられた負担にふれていること。年貢を納めさせることを答える。幕府や藩の財政を支え、武士の生活を支えたのは百姓の納める年貢米であった。
- (2) 土地を深く耕すことを答える。資料は備中鍬。刃の部分が1本ではなく、2～5本に分かれており、土地を深く耕すことができた。

16 社会の変化と幕府の対策

p.89

▶ 確認問題

- 1 (1) 徳川吉宗 (2) 公事方御定書
- (3) 目安箱 (4) 商品作物
- (5) 問屋制家内工業 (6) 小作人
- (7) 百姓一揆 (8) 打ちこわし
- (9) 田沼意次 (10) 株仲間
- (11) 松平定信 (12) 朱子学
- (13) 化政文化 (14) 狂歌
- (15) 十返舎一九 (16) 本居宣長
- (17) 解体新書 (18) 伊能忠敬
- (19) ①寺子屋 ②藩校

解説

- 1 (1) 徳川吉宗は、悪化した幕府の財政を立て直すため、享保の改革を行った。
- (6) 土地を失って小作人になったり、都市に働きに出たりする者が多くなった。
- (9) 田沼意次は、商業を活性化することで、幕府の財政を立て直そうとした。
- (11) 旗本や御家人の、町人からの借金を帳消しにさせたが、あまり効果はなかった。

p.90

● 図表チェック ●

- 1 A 享保 B 田沼意次
- C 杉田玄白 D 寛政
- E 古事記伝
- (1) 裁判〔刑〕 (2) エ
- 2 (1) A新田 B上米
- C株仲間 D天明
- E打ちこわし F松平定信
- G商品作物 H地主
- I小作人
- (2) A蘭学 B解体新書
- C葛飾北斎

解説

- 1 D 田沼意次のあと老中になった松平定信は、農村の復興を目指した。
- (1) 公事方御定書という法律により、公平な裁判の基準を定めた。
- (2) 国学は幕末の尊王攘夷運動に影響を与えた。
- 2 (1)A 幕府や藩は年貢を増やすために新田開発やかんがい事業に取り組んだ。
- E 江戸時代に農村で起こった騒動は百姓一揆、都市で起こった騒動は打ちこわしである。

- (2)B 「解体新書」はオランダ語で書かれた人体解剖書を翻訳したものである。

p.91

必修問題

- 1 (1) A 享保 B 目安箱 C 問屋制家内工業
D 株仲間 E 寛政 F 寺子屋
(2) ①松平定信 ②徳川吉宗 ③田沼意次
(3) ①狂歌 ②イ ③エ

- 2 (1) (例) 作物を売ったり、作物の栽培に必要な農具や肥料などを買ったりすることが増えたから。
(2) (例) 連帯して責任を取るため。／中心人物を分からなくするため。

解説

- 1 (1) F 商売や農村の運営のために必要な知識である「読み・書き・そろばん」が学ばれた。
(2) ①松平定信は寛政の改革で、旗本や御家人の苦しい生活を救うため、町人からの借金を帳消しにした。②徳川吉宗は、裁判の件数が増加したことを受け、裁判や刑の基準となる公事方御定書を定めた。③田沼意次は株仲間の営業権を認めて税を徴収したり、長崎貿易の活発化を図るなど、商業振興政策をとった。
(3) ①川柳は俳句と同じ5・7・5の17音、狂歌は短歌と同じ5・7・5・7・7の31音からなる。②松平定信は質素・儉約を掲げ、庶民が読む出版物の内容も厳しく取り締まったことから、庶民の反発を招いた。資料の狂歌は「松平定信の政治は厳しすぎて、田沼の時代が恋しい」という内容である。③アの東洲斎写楽は浮世絵に歌舞伎の人気役者を描いた。イの曲亭(滝沢)馬琴は長編小説「南総里見八犬伝」の作者。ウの与謝蕪村は俳諧で活躍した。
- 2 (1) 「作物」という語句を用いること。作物を売ったり、作物の栽培に必要な肥料や農具を購入したりすることが増えたことを答える。
(2) 連帯して責任を取ることを答える。または、中心人物を分からなくすることを答える。

定期テスト 得点 UP 問題 14~16

p.92~93

- 1 (1) 外様大名 (2) 朱印船貿易
(3) 武家諸法度 (4) イ
(5) ア→ウ→イ
(6) シャクシャイン
(7) (例) 学問や礼節を重んじる文治政治を目指したから。
(8) e Xウ・Yキ f Xア・Yケ
- 2 (1) ①ア
② (例) 備中鍬や千歯こきなどの農具が使用されたから。
(2) ウ
(3) ①朱子学 ②エ
(4) ①E元禄 F 化政 ②近松門左衛門
③Xイ Yア ④浮世絵

解説

- 1 (1) 外様大名は、江戸から遠いところに配置された。
(2) 海外渡航を許可する証書を朱印状という。
(3) 大名の行動を取り締まっている。
(4) イ江戸での費用29.3%、大名行列の費用4.6%を合わせると、33.9%。総額の3分の1にもあたるが、俸禄などの43.6%よりは少ない。
(5) アは1612年、イは1637年、ウは1635年。
(7) 17世紀後半は、幕藩体制が確立されたこともあって、5代将軍徳川綱吉は、武力ではなく主従関係や上下関係を重視する政策に転換した。
(8) 田沼意次は、クを行った。
- 2 (1) 新田開発で耕地面積が増え、栽培方法の工夫などもあり、米の収穫量が増えた。
(2) ア江戸ではなく大阪。イ西廻り航路は東北地方と大阪を、東廻り航路は東北地方と江戸を結んだ。エ農具などを買ったり、作物を売ったりして、農村でも貨幣を使う機会が増えていった。
(3) ②徳川春海は、日本独自の暦をつくった。
(4) ①元禄は徳川綱吉のころの元号。化政は文化・文政という元号の略。③ウは「東海道五十三次」が有名。④Yは肉筆画だが、Xは多色刷りの版画(錦絵)として安く売られ、多くの人々が買い求めた。海外にも広まり、多くの画家に影響を与えた。

17 欧米諸国における近代化①

p.95

▶ 確認問題

- (1) 市民革命 (2) 市民社会
 (3) 近代化
 (4) ①ピューリタン ②共和政
 (5) 名誉革命 (6) 権利の章典
 (7) 立憲君主政 (8) 植民地
 (9) アメリカ独立戦争 (10) 独立宣言
 (11) ワシントン (12) 基本的人権
 (13) モンテスキュー (14) ルソー
 (15) フランス革命 (16) 人権宣言
 (17) 民主主義
 (18) ①ナポレオン ②皇帝

解説

- (1) 自由で平等な、市民による社会の原理を示した。
 (2) 人々が身分の区別なく自由な活動を認められる社会である。
 (6) それまでのイギリスでは、国王が議会を無視して増税をするなどの専制が続いていた。
 (13) 著書「法の精神」のなかで三権分立のしくみを示した。
 (18)① ナポレオンは、市民の自由・平等などを保障する法律を定めた。

p.96

● 図表チェック ●

- ① A クロムウェル B 独立
 C フランス D ナポレオン
 (1) 基本的人権 (2) エ
 ② (1) A 専制君主政 B 国王
 C 名誉 D 立憲君主政
 E 独立 F 共和政
 (2) A 市民革命 B 権利の章典
 C 議会 D 人権宣言
 E 啓蒙

解説

- ① A クロムウェルは議会を解散して独裁を行ったため、その死後に、王政と議会が復活した。
 (2) 政府と議会と裁判所がお互いに監視し合う体制である。
 ② (1)C 国王を追放し、新しい国王を迎えた。この革命は、戦乱をせずに成功したことから名誉革命とよばれる。この革命により、議会制度の基礎がつくられた。
 F 主権が国民にあり、国民が選んだ代表者が政

治を行う。

- (2)E 代表的な啓蒙思想家として、ロック、モンテスキュー、ルソーが挙げられる。

p.97

▶ 必修問題

- ① (1) A 市民革命 B 人権宣言
 Cピューリタン D共和政 Eロック
 Fルソー
 (2) 民主主義
 (3) ウ
 (4) X平等 Y自由
 (5) 三権分立
 (6) 名誉革命→アメリカ独立戦争→フランス革命
 ② (1) (例) 聖職者と貴族を支えるために、平民が重い税に苦しんでいる。
 (2) (例) 各地に自由・平等の考えが広まると同時に人々の民族意識を高めた。

解説

- ① (1) A 市民革命は身分制を廃止し、自由で平等な社会の実現を目指した。B 人間の自由と平等を唱えた人権宣言には、アメリカ独立宣言やルソーの思想の影響が見られる。Cピューリタン(清教徒)はカルバンの教えを信じるプロテスタントである。
 (3) ア名誉革命では国王は処刑されず、国外に追放された。戦乱をせずに成功した革命なので名誉革命という。イ ワシントンはアメリカ独立戦争の司令官で、アメリカ合衆国初代大統領。ウ権利の章典では国王の権力を制限する議会の権利が確認された。
 (6) 名誉革命は1688年、アメリカ独立戦争は1775年、フランス革命は1789年に起こったできごとである。
 ② (1) 資料中の石は平民に課せられた重い税を表したものであり、そのことを明らかにして、聖職者と貴族を平民が支えていることと、平民が重い税に苦しんでいることを答える。
 (2) 「自由・平等」「民族意識」という語句を用いること。各地に自由・平等の考えが広まることと、人々の民族意識を高めたことを答える。

18 欧米諸国における近代化②

p.99

▶ 確認問題

- (1) 綿織物工業 (2) 蒸気機関
(3) 産業革命 [工業化] (4) 資本主義
(5) 労働組合 (6) 社会主義
(7) 選挙法 (8) フランス
(9) ①国民 ②近代 (10) 南北戦争
(11) リンカン
(12) ①ドイツ ②ロシア
(13) 世界の工場 (14) 植民地
(15) イギリス (16) 綿
(17) インド大反乱 (18) モノカルチャー

解説

- (1) 綿糸をつくる工業を紡績業、綿糸で布を織る工業を綿織物工業という。
(2) 主に石炭を燃料とし、水蒸気の圧力を利用して動力を得る機関である。
(4) 資本家は労働者を雇って、利潤を第一に経営を行う。
(11) リンカンが大統領になると、南部が合衆国からの分離を宣言し、南北戦争が始まった。
(13) 「世界の工場」とよばれたイギリスは世界各地に進出し、多くの植民地をもつ大帝国となった。

p.100

● 図表チェック ●

- 1 A 社会主義 B リンカン
C ビスマルク
(1) 労働組合 (2) 南北戦争
(3) イ
2 (1) A 紡績 B 蒸気
C 重 D 産業革命 [工業化]
(2) A 原料 B 工場
C イギリス D 植民地
E 綿製品 F インド大反乱

解説

- 1 A マルクスは、資本家や地主がいらない社会をつくり、工場や土地を共有すべきだと説いた。
C ビスマルクはドイツ帝国の宰相に就いて、工業化と世界進出を進めた。
(1) 労働者は待遇の改善を求めてストライキなどの争議を起こした。
2 (1) B 紡績業でも、蒸気ので動く機械が導入された。
C 機械・金属など比較的重い製品をつくる工業

を、重工業という。

- (2) F イギリスの支配に不満をもつ農民・地主・手工業者など、多くの人々が立ち上がった。

p.101

▶ 必修問題

- 1 (1) A 産業革命 [工業化] B 労働組合
C マルクス D インド大反乱
(2) 船 [蒸気船]・鉄道 [蒸気機関車]
(3) ①ドイツ ②アメリカ
(4) 機械
(5) フランス
(6) イ・オ
2 (1) (例) 工場や機械をもつ資本家が、利益を得ることを目的に、労働者を雇って生産活動をするしくみ。
(2) (例) インドからヨーロッパへの綿織物の輸出額は減少し、イギリスからアジアへの綿織物の輸出額は増加した。

解説

- 1 (1) B 一人ひとりでは立場の弱い労働者が、団結することで発言力を強めた。C 労働者を中心とした平等な社会のしくみを唱えたマルクスやエンゲルスの社会主義思想は、19～20世紀にかけて世界に広まった。D 東インド会社に雇われていたインド人兵士たちの反乱をきっかけとする。
(3) ①ドイツ統一のため、プロイセン王国首相のビスマルクは「鉄血政策」といわれる富国強兵を進めた。②南北戦争の後、アメリカでは工業が急速に発展していった。
(4) 工場での機械工業の広がりによって、生産の能率が上がった。
(5) フランスでは制限選挙が行われていたが、1848年に革命が起こると男子普通選挙が実現した。
(6) 欧米諸国の進出の結果、アフリカでは中南部、アジアでは東南アジアの一部でキリスト教が信仰されるようになった。
2 (1) 「資本家」「利益」「労働者」という語句を用いること。資本家が利益を目的に労働者を雇って生産を行うことを答える。
(2) Xがインドからヨーロッパへの綿織物の輸出額、Yがイギリスからアジアへの綿織物の輸出額であると判断し、インドからヨーロッパへの綿織物の輸出額が減少し、イギリスからアジアへの綿織物の輸出額が増加したことを答える。

19 開国と幕府の終わり①

p.103

▶ 確認問題

- (1) ロシア (2) 間宮林蔵
(3) 異国船打払令 (4) 高野長英
(5) 茶
(6) ①綿織物 ②三角貿易
(7) アヘン戦争 (8) 南京条約
(9) 香港
(10) 薪水給与令 [天保の薪水給与令]
(11) 工場制手工業 (12) 専売制
(13) 長州藩
(14) ①大塩平八郎 ②大阪
(15) 水野忠邦 (16) 天保の改革
(17) 株仲間 (18) 幕領

解説

- (1) このころ外国の船が、食料や燃料の補給、通商などを求めて日本の沿岸に來航するようになった。
(3) 清とオランダを除く外国船を撃退するよう、全国の大名に命じた。
(6) イギリスの工業製品は清では思うように売れず、イギリスは大幅な赤字を銀で支払っていた。この対策として三角貿易が行われた。
(11) 工場制手工業は、織物業や酒・しょうゆなどの醸造業に多く見られた。
(15) 水野忠邦は、松平定信よりも徹底して農村の立て直しに取り組んだ。

p.104

● 図表チェック ●

- ① A ラクスマン B 渡辺華山
C 天保の改革
(1) 蛮社の獄 (2) 三角貿易
(3) ア
② (1) A 蝦夷地 B ロシア
C 間宮林蔵
(2) A アヘン B 南京
C 香港
(3) A 異国船打払令 B イギリス
C 薪水給与令 [天保の薪水給与令]

解説

- ① A ラクスマンは日本人の漂流民を連れて根室に來航したが、通商の要求は断られた。
B 渡辺華山は、鎖国が時代に合わないと言いて、幕府の政策を批判した。
② (1) C 間宮林蔵は伊能忠敬に測量の技術を学んだ。

- (2) A 清は代金としての銀の不足と、アヘン中毒患者の増加に苦しんだ。
(3) C 外国船に対し、追い払おうという方針から、薪や水、食料を与えて帰らせる方針に転換した。

p.105

▶▶ 必修問題

- ① (1) A 南京 B ロシア C 蛮社の獄
D 天保 E 大塩平八郎 F 株仲間
(2) ①イギリス ②清 [中国]
(3) 間宮林蔵
(4) イ
(5) ウ
(6) エ
② (1) (例) 作業所 (工場) に人を集めて、分業で製品を生産するしくみ。
(2) (例) 外国船を追い払う異国船打払令を緩和、外国船に薪や水を与えて退去させる薪水給与令を出した。

解説

- ① (1) A 南京条約では、イギリスは香港島とばく大な賠償金を獲得し、上海など5港の開港、イギリスの開港地での自国の法律で裁く権利を認めさせた。B ロシアの使節は1792年と1804年に日本の漂流民を伴って來航し、通商を求めたが、幕府はそれを断った。F 天保の改革を始めた水野忠邦は、株仲間の流通独占が物価上昇の原因と考えた。
(2) 三角貿易はアヘン戦争の原因となった。イギリスは18世紀から、清から茶などを輸入していたが、支払いの銀が不足していた。そこで、植民地のインドから清にアヘンを密輸して銀を獲得した。清はアヘンの中毒患者の増加や代金の銀の不足から売買を禁止し、これを不服としてイギリスが清に攻め込み、アヘン戦争となった。
(4) 異国船打払令を批判した高野長英や渡辺華山らの蘭学者たちが幕府が1839年に処罰したのが蛮社の獄である。
(5) 天保の飢きんで、大塩平八郎は奉行所に人々の救済を求めたが聞き入れられなかった。
② (1) 場所と生産のしかたに着目していること。作業所 (工場) に集まり、分業で生産を行うことを答える。
(2) 異国船打払令は外国船を追い払うこと、薪水給与令は外国船に薪や水を与えて退去させることを答える。

20 開国と幕府の終わり②

p.107

▶ 確認問題

- (1) ペリー (2) 日米和親条約
(3) 神奈川〔横浜〕 (4) 関税自主権
(5) 領事裁判権 (6) 尊王攘夷
(7) ①井伊直弼 ②安政の大獄
(8) 桜田門外の変 (9) 長州藩
(10) 木戸孝允 (11) 薩摩藩
(12) 大久保利通
(13) ①坂本龍馬 ②薩長同盟
(14) 徳川慶喜
(15) ①岩倉具視 ②王政復古の号令
(16) 戊辰戦争 (17) 世直し

解説

- (2) 日米和親条約の締結で、幕府は鎖国状態をやめて開国に踏み切った。
(8) 井伊直弼は、尊王攘夷派に激しい弾圧を加えたため暗殺された。
(13) 薩摩藩と長州藩が手を結び、倒幕を目指すことを密約した。

p.108

● 図表チェック ●

- 1 A アメリカ B 吉田松陰
C 桜田門外 D 坂本龍馬
E 大政奉還
(1) 日米和親条約 (2) 尊王攘夷
2 (1) A 日米修好通商 B 綿織物
C 生糸 D 関税
(2) A 長州 B 薩英
C 倒幕 D 王政復古
E 戊辰
問い エ

解説

- 1 A ペリーは、日本に開国と通商を求めるアメリカ大統領の国書をたずさえてきた。
D 坂本龍馬は、外国に対抗できる強力な統一国家をつくる必要を説いた。
(2) 幕府が朝廷の意見を聞かずに開国したこと、尊王攘夷の運動が高まった。
2 (1) A オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも、同じ内容をもつ条約が結ばれた。
C 貿易額の約85%を生糸が、約10%が茶が占めた。
(2) D 徳川慶喜は新しい政府で権力をもち続けよう

とはかったが、倒幕派は慶喜の勢力を政治の中心から追放するため王政復古の号令を出した。

p.109

▶ 必修問題

- 1 (1) A 日米和親 B 日米修好通商
C 井伊直弼 D 桜田門外の変
E 長州 F ええじゃないか
(2) ア・オ
(3) ①関税自主 ②領事裁判
(4) イ
(5) 西郷隆盛
(6) イギリス
(7) エ→イ→ア→ウ
2 (1) (例) 物価が上昇し、人々の生活は苦しくなった。
(2) (例) 新しい政権で、幕府勢力の地位を確保するため。

解説

- 1 (1) A 開港した下田にはアメリカ総領事としてハリスが着任した。E 長州藩ははじめ尊王攘夷の立場をとっていた。しかし、関門海峡を通る外国船を攻撃し、報復攻撃を受けて敗北したことをきっかけに攘夷から開国に転じた。
(3) 日米修好通商条約は、日本に関税自主権がなく、アメリカに領事裁判権を認めた点で日本にとって不平等であった。アメリカに領事裁判権を認めると、日本でのアメリカ人の犯罪に対して日本に裁判権がなくなる。
(6) 薩摩藩士がイギリス人を横浜で殺傷した生麦事件の報復として、イギリス艦隊が鹿児島を攻撃した(薩英戦争)。
(7) アの王政復古の号令とイの大政奉還は1867年で大政奉還が先。ウの戊辰戦争が終結したのは1869年、エの薩長同盟は1866年のできごと。倒幕運動が盛んになり、幕府だけの政治は難しいと考えた徳川慶喜は、新政府で勢力を保持することを狙って大政奉還を行った。これに対し、慶喜を政治の中心から追い出すため、王政復古の号令が出された。その結果、戊辰戦争が起こった。
2 (1) 「物価」という語句を用いること。物価が上昇したこと、人々の生活が苦しくなったことを答える。
(2) 「地位」という語句を用いること。新政権で幕府勢力の地位を確保することを答える。

p.110~111

- 1 (1) Xイ Yウ (2) Aオ Bウ Cカ
(3) X20
Y (例) 機械を使って大量生産された
(4) ①イ ②南京条約 ③インド大反乱
(5) ア
2 (1) 水野忠邦
(2) X下田 Y函館 Zアメリカ (3) ウ
(4) (例) 日本では外国と同じ量の銀で、外国
よりも多くの金と交換することができたから。
(5) ウ→イ→ア (6) 大政奉還 (7) エ

解説

- 1 (1) Xは権利の章典、Yは人権宣言。
(2) アはアメリカ独立戦争の指導者で初代アメリカ
大統領、イはフランス革命前に専制君主政を行っ
た国王、エはピューリタン革命を指導した政治家。
(3) イギリスは1790年代終わりごろから輸出を始め、
1820年ころにアジアからの輸出を上回った。
(4) ①清は貿易港を1港に限っていたため、イギリ
ス製品は清であり売れなかった。また、イギリ
スでは紅茶を飲む習慣が広まっていたため、清か
ら大量に輸入する茶の代金の銀が不足したため三
角貿易を行うようになった。②南京条約では、清
はイギリスに多額の賠償金を支払い、香港島を譲
ることになった。
(5) イは三権分立を唱えた。ウはドイツの出身で社
会主義を唱えた。エは社会契約説と抵抗権を唱え
たイギリスの啓蒙思想家。
2 (1) 天保の改革では、株仲間を解散させるなどの政
策を行ったが失敗に終わった。
(2) Z日本で罪を犯したアメリカ人を、日本の法律
ではなく、アメリカの領事がアメリカの法律で裁
くこととした。
(3) ア輸入1315.3万ドル、輸出1746.8万ドルなので
輸出額のほうが多い。イ輸出では生糸が約85%だ
が、輸入では毛織物でも5割以下である。エ日本
を開国させたアメリカは、南北戦争の影響で貿易
額が激減した。
(5) 1858年に日米修好通商条約を結んだ井伊直弼は、
反対派の弾圧(安政の大獄)を行ったため、1860
年桜田門外の変で暗殺された。その後、攘夷に失
敗した薩摩藩と長州藩が、1866年薩長同盟を結んだ。
(6) 大政奉還を行ったのは、15代将軍徳川慶喜。
(7) 木戸孝允は長州藩、坂本龍馬は土佐藩出身。

p.112~113

- 1 (1) ①譜代大名 ②外様大名
(2) (例) 江戸から遠くはなれた場所に配置さ
れた。
(3) (例) 大名と将軍の主従関係を確認するため。
2 (1) 武士
(2) 約85%
(3) (例) 百姓が年貢を納めようとしている場
面。
(4) (例) 幕府の収入の約6割は百姓からの年
貢によって支えられていたから。
3 (1) (例) 社会の秩序を重視した政策を採り、
儒学(朱子学)をすすめた。
(2) (例) それまでの貨幣より金の割合が低い
質の悪い貨幣。
4 (1) (例) 都市の貧困層が物価の上昇や生活苦
から商人をおそうもの。
(2) (例) 大きなききんが発生し、人々の生活
が苦しくなっているとき。

解説

- 1 (1) 関ヶ原の戦いの前から徳川家に仕えていた大名
を「譜代大名」と呼び、戦いの後に従った大名を
「外様大名」と呼ぶ。
(2) 譜代大名は幕府の要職に就き、要所や江戸に近
いところに配置された。外様大名は幕府に警戒さ
れていたため、江戸から遠くはなれたところに配
置された。
(3) 武家諸法度により、大名は参勤交代を義務付け
られた。大名は妻子を江戸におき、1年ごとに江
戸と領地を往復しなければならず、多額の費用が
必要になった。また、江戸での生活費も藩の財政
を圧迫した。
2 (1)(2)(3) 刀を持っているXは武士。年貢を納めてい
るYは百姓で、資料1は百姓が年貢を納めようと
している場面である。年貢は百姓が生産した農作
物の一部を領主に納める制度で、これは幕府や藩
の収入源となった。
(4) 幕府の財政や武士の生活は、百姓の納める年貢
によって支えられていたため、幕府は年貢の納入
を安定させるために、年貢の取り立てを村単位で
行ったり、五人組の制度を作って年貢納入を連帯
責任にしたりした。
3 (1) 孔子は、春秋・戦国時代に儒学を始めた人物。
徳川綱吉は湯島に湯島聖堂を建て、儒学を奨励し

た。

- (2) 綱吉の時代、佐渡金山などで鉱物の産出量が減少したことや、大火事の被害にあった江戸城や市街の再建費用、寺社の造営費用などで幕府の財政は悪化した。このため幕府は貨幣の質を下げ、より多くの貨幣を発行することで、財政を立て直そうとした。

- 4 (1) 打ちこわしは、米の買いしめを行った商人に対して、都市部で発生した。農村では、年貢の減免を求めて直接行動をとる百姓一揆が起こった。
- (2) 資料2を見ると、打ちこわしが頻発するのはききんの後だということが分かる。打ちこわしや百姓一揆は、凶作やききんの時に各地で多発した。

思考力講座⑥ 欧米の近代化

p.114~115

- 1 (1) (例) 貴族や聖職者が特権を持ち、平民が重い税を負担していた体制。
- (2) (例) それまでおさえつけられていた平民が武器をとって革命を起こそうとしているから。
- (3) (例) 絶対王政から共和政に変わり、特権が廃止され、平等に税を負担するようになった。
- 2 (1) 資本主義
- (2) (例) 子どもの労働者は教育の機会もなく、長時間労働や劣悪な労働環境に苦しんでいた。
- (3) 社会主義
- 3 (1) (例) 機械を使って綿織物を安価に大量に生産できるようになり
- (2) (例) インドで生産したアヘンを清に売っていたイギリスが、アヘンの流通を取りしめるようになった清に対して戦争をしかけたから。
- (3) ①南京条約 ②エ
- (4) ①インド大反乱
- ② (例) イギリスからインドへ安い綿織物の輸出が増え、インドの綿織物が売れなくなったから。／イギリスがインドから税をとったから。

解説

- 1 (1) 資料1は、フランス革命前の絶対王政の体制の様子を表している。この体制では、国王が全ての権力をにぎり、貴族や聖職者が免税の特権を享受していた。農民や市民は重い税負担を強いられていた。
- (2) 資料2では、資料1で踏みつけられていた農民が、鎖を断ち切り、武器を取り立ち上がろうとしている。背景にえがかれているのはフランス革命のきっかけとなったバスチーユ牢獄と、行進する民衆たちである。
- (3) 資料3は、フランス革命後の様子を表している。フランス革命の後、それまで免税が認められていた貴族や聖職者の特権は廃止され、税負担が平等化された。
- 2 (1) 18世紀後半になると、イギリスで蒸気機関が使われ始め、機械によって安く大量に綿織物などが生産できるようになった。
- (2) 利益の拡大を目指す資本家たちは、できるだけ労働者の賃金をおさえようとし、男性より賃金の

安い女性や子どもたちを労働力として雇うようになった。

- (3) 資本主義の拡大で、資本家と労働者の格差が広がった結果、19世紀のヨーロッパでは資本家と労働者の格差を解決して、貧富の差のない平等な社会の実現を目指す社会主義の考えが芽生えた。

- 3 (1) 18世紀にイギリスで産業革命が起こり、綿織物が機械で生産されるようになると、安価なイギリス製の綿製品の輸出量が増加した。
- (2) 18世紀のイギリスは清から茶や絹を輸入していたが、イギリスから清への輸出が少なく、貿易は赤字だった。そのため、イギリスはインドでアヘンを生産し、そのアヘンを清に売るという三角貿易を始めた。
- (3) ①アヘン戦争では、イギリスが兵器や戦術で清を圧倒し、勝利した。1842年に南京条約を締結し、イギリスは清に、上海・寧波・福州・廈門・広州の5港の開港、香港をゆずること、賠償金の支払いなどを認めさせた。
- ②キリスト教の布教を認めさせたのは1858年。
- (4) イギリス製の安価な綿製品の輸出増加によって、インドの伝統的な綿織物業が打撃を受けた。これにより、インドの綿織物業は衰退して、人々の不満は高まり、社会不安が広がった。1857年にイギリスの東インド会社に雇われていたインド兵が反乱を起し、農民なども加わって全国に広がった。このできごとはインド大反乱と呼ばれ、これを鎮圧したイギリスはムガル帝国の皇帝を退位させ、インドをイギリスの植民地とした。

21 明治政府による近代化の始まり

p.117

▶ 確認問題

- | | |
|----------------|-------------|
| ■ (1) 明治維新 | (2) 五箇条の御誓文 |
| (3) 東京 | (4) 藩閥政治 |
| (5) 版籍奉還 | (6) 廃藩置県 |
| (7) 平民 | (8) 解放令 |
| (9) 富国強兵 | |
| (10) ①富岡 ②殖産興業 | |
| (11) ①郵便 ②横浜 | |
| (12) 徴兵令 | (13) 地租改正 |
| (14) 学制 | (15) 文明開化 |
| (16) 太陽暦 | (17) 福沢諭吉 |
| (18) 血税一揆 | |

解 説

- (2) 世論を大切にして政治を進めること、外国と交際を深め国を発展させることなどを方針として示した。
- (5) 版籍奉還後も、旧藩主はそのまま藩政にあたっていたのであまり効果はなかった。
- (14) 江戸時代に広まっていた寺子屋を基礎に、全国各地で小学校がつくられた。
- (15) 文明開化は都市を中心に進み、農村ではそれまでとあまり変わらない生活が続いていた。

p.118

● 図表チェック ●

- | | |
|---------------|----------|
| 1 A 天皇 [明治天皇] | B 版籍奉還 |
| C 廃藩置県 | D 福沢諭吉 |
| (1) ウ | (2) 文明開化 |
| 2 (1) A 平民 | B 華族 |
| C 士族 | D 解放令 |
| E 徴兵令 | F 学制 |
| (2) A 地租改正 | B 地券 |
| C 3 | D 横浜 |
| E 郵便 | |

解 説

- 1 C さまざまな権限が中央政府に集中している政治のしくみを目指した。
- (1) このあと、藩閥政治は大正時代ごろまで力もち続けた。
- (2) 「学問のすゝ(す)め」を著した福沢諭吉などが、欧米の自由や権利といった思想を日本に紹介した。
- 2 (1) A 平民にも名字を許し、職業や住所を自由に選ぶことも認めた。
- E 徴兵は国民にとって大きな負担となり、各地

で反対の一揆^{いつぎ}が起こった。

(2)B 地券には土地の面積・所有者名・地価・地租が記された。

E 飛脚^{ひきゃく}にかわる近代的な郵便制度が導入された。

p.119

▶ 必修問題

1 (1) A 明治維新 B 五箇条の御誓文
C 廃藩置県 D 富国強兵 E 殖産興業
F 神道

(2) イ・ウ

(3) エ

(4) 徴兵令

(5) 士族

(6) ①ア ②学問のすゝめ [学問のすすめ]

2 (1) (例) 地租改正反対一揆^{いつぎ}が起こり、税率が引き下げられたから。

(2) (例) 授業料を負担できない親が多かったため。／女子は家事^{にや}の担い手だったため。

解説

1 (1) A 江戸時代までのさまざまな制度を廃止し、新しい世の中を目指した。C 藩を廃して府・県を置き、中央から府知事・県令^{けんれい} (後の県知事^{けんし}) を派遣して治めさせた。E 国が経営する官営工場をつくとともに、民間の産業も育成しようとした。

(2) 明治新政府の重要な役職の多くは、薩摩・長州・土佐・佐賀^{さつ ま ちゅう し} (肥前^{かんえい}) の4藩の出身者で占められ、藩閥政治とよばれた。

(3) 生糸は日本の重要な輸出品であった。

(6) ①アは安土桃山時代にもたらされた。

2 (1) 「一揆^{いつぎ}」という語句を用いること。地租改正反対一揆^{いつぎ}が起こったことと、税率が引き下げられたことを答える。地租は最初、地価の3%だったが、地租改正反対一揆^{いつぎ}を受けて2.5%に引き下げられた。

(2) 授業料などが住民の負担とされていた点、あるいは子どもの労働力が失われることを嫌った点を答える。

22 近代国家への歩み①

p.121

▶ 確認問題

- (1) 岩倉使節団^{いわくらしせつだん} (2) 津田梅子^{つただうめこ}
(3) 日清修好条規^{にっしんしゅうこうじょうぎ} (4) 征韓論^{せいがんろん}
(5) 西郷隆盛^{さいこうたかもり} (6) 江華島事件^{カンファド カンファド}
(7) 日朝修好条規^{にっちょうしゅうこうじょうぎ}
(8) ①ロシア ②千島^{ちしま}
(9) 小笠原諸島^{おがさわら} (10) 琉球藩^{りゅうきゅうはん}
(11) 台湾^{たいわん} (12) 沖縄県^{おきなわ}
(13) 蝦夷地^{えぞち} (14) 開拓使^{かいたくし}
(15) 屯田兵^{とんでんべい} (16) アイヌ
(17) 北海道旧土人保護法^{きゅうどじんほごほう}
(18) ①土地 ②移住

解説

- (3) 日本と清は、相互に対等の地位を認めた。
(4) このころの朝鮮^{ちようせん}は、欧米に対して鎖国^{さこく}し、日本との国交も拒んでいた。
(10) 台湾への出兵を機に、政府は琉球藩が清と関係をもつことを禁止した。
(15) 屯田兵は、非常時には武器をとって北海道の防備にあたった。北海道ではアメリカ式の農法が取り入れられ、大規模な農場がつくられた。

p.122

● 図表チェック ●

- 1 A 日清修好条規 B 琉球藩
C 板垣退助
(1) 条約 [不平等条約] (2) 朝鮮^{ちようせん}
(3) 樺太・千島交換条約^{からふと ちしまこうかんじょうやく}
2 (1) A 清 [中国] B 朝鮮
C 江華島 D 日朝修好条規
E 台湾 F 沖縄
G ロシア
(2) A 北海道 B 開拓使
C 士族 D アイヌ

解説

- 1 A 清とは後に琉球や朝鮮をめぐり対立していった。
C 征韓論^{せいがんろん}が退けられて政府から去った板垣退助は、政府を批判した。
(1) 岩倉使節団^{いわくらしせつだん}の派遣以後、条約改正は日本の外交の中心的な課題となった。
2 (1) C 朝鮮の江華島沖で、日本の軍艦が無断で測量を行い、朝鮮側から砲撃^{ほうげき}された。
F 日本と清は琉球の所屬をめぐって対立するようになる。

G ロシアに樺太島領有を認め、千島列島の全島を日本領とすることとした。

(2)B 開拓使は炭鉱の開発や、農地の改良を進めた。

p.123

必修問題

- 1 (1) A岩倉具視 B江華島 C樺太・千島交換
D小笠原 E沖縄 F屯田兵
(2) エ
(3) 樺太島 エ 千島列島 オ
(4) イ
(5) アイヌ
(6) 北海道旧土人保護法
- 2 (1) (例) 武力に訴えてでも朝鮮に開国を迫るという主張。
(2) (例) 日清修好条規は、領事裁判権を互いに認めていたが、日朝修好条規は、日本にだけ領事裁判権を認めるものであったから。

解説

- 1 (1) A岩倉具視を全権大使として、大久保利通・木戸孝允らが派遣された。B江華島事件後に結ばれた日朝修好条規で釜山など3港が開港され、貿易が始まった。Cそれまで樺太は特に境を設けず、日本・ロシア両国民が利用することになっていた。
(2) 欧米を視察してきた岩倉具視や大久保利通は、国内の改革が先であるとして征韓論を抑えた。
(3) 北部も含め、千島列島のすべてが日本領とされた。
(6) 1997年にアイヌ文化振興法が制定され、北海道旧土人保護法は廃止された。2019年には、アイヌ民族を先住民族であると明記したアイヌ施策推進法が制定され、アイヌ文化振興法は廃止された。
- 2 (1) 武力に訴えることと、朝鮮に開国を迫ることを答える。
(2) 「領事裁判権」という語句を用いること。日清修好条規は領事裁判権を互いに認めていたことと、日朝修好条規は日本にだけ領事裁判権を認めるものであったことを答える。

23 近代国家への歩み②

p.125

確認問題

- 1 (1) 民撰議院設立建白書 (2) 自由民権運動
(3) ①西郷隆盛 ②西南 (4) 国会期成同盟
(5) フランス
(6) ①北海道 ②国会 (7) 板垣退助
(8) 大隈重信 (9) 秩父事件
(10) ドイツ〔プロイセン〕
(11) 内閣制度 (12) 伊藤博文
(13) 大日本帝国憲法 (14) 天皇
(15) 法律 (16) 教育勅語
(17) 帝国議会 (18) 貴族院

解説

- 2 (2) 国民の自由と権利を求め、すみやかに民撰議院(国会)を開くよう主張した。
(9) 生活に苦しむ農民たちが自由党の影響下で、武装して役所などを襲った。
(16) 天皇への「忠」と親への「孝」を基本とした。
(17) 帝国議会は衆議院・貴族院の二院制である。

p.126

図表チェック

- 1 A 板垣退助 B 西郷隆盛
C 立憲改進黨 D 伊藤博文
E 帝国
(1) 自由民権運動 (2) 士族
(3) ア
- 2 (1) A西南 B高知
C中江兆民 D自由民権
E国会期成 F秩父
(2) Aドイツ〔プロイセン〕 B内閣
C大日本帝国 D天皇

解説

- 1 B 鹿児島県(旧薩摩藩)の士族らが、明治維新の功勞者である西郷隆盛を押し立てて乱を起こした。
D 立憲政治の開始に備えて、内閣制度が創設された。
(1) 運動の参加者は士族から、豪農や商工業者へと広がっていった。
- 2 (1)B 高知県では、板垣退助らの意見に賛成する不平士族が立志社に集まった。
E 立志社はその後、愛国社から国会期成同盟へと発展した。
(2)A 伊藤博文は、君主中心の政治を行っているドイツ(プロイセン)の憲法を中心に調査した。

D 帝国議会・大臣・裁判所は、いずれも天皇の統治を助ける機関とされた。

p.127

▶ 必修問題

- 1 (1) A民撰議院設立建白書 B国会
C自由民権 D西郷隆盛
E自由党 F立憲改進黨
(2) 西南戦争
(3) イ
(4) ア
(5) ウ
(6) 伊藤博文
(7) ①衆議院 ②教育勅語 ③民法
- 2 (1) (例) 君主の権力が強い。
(2) (例) 言論・集会・信教などの自由が、法律の範囲内で認められた。

解説

- 1 (1) A藩閥による専制をやめて、選挙による議会をつくるよう主張した。E板垣退助は、フランスの人権思想に基づいて自由党を結成した。
(3) アは1868～69年、ウは1871年、エは1874年。
(4) 大隈重信は、イギリス流の議会政治を目指して立憲改進黨を結成した。
(5) ア～エはいずれも、1880年代に起こった民権派の激化事件である。
(6) 初代内閣総理大臣となった伊藤博文は、後に韓国統監に任じられ、1909年に満州で暗殺された。
(7)① 国民の選挙によって選ばれているため衆議院と判断できる。
- 2 (1) 「君主」という語句を用いること。君主の権力が強い点を答える。
(2) 「法律」という語句を用いること。法律の範囲内で、国民の権利と自由が認められたことを答える。

定期テスト 得点UP問題 21～23

p.128～129

- 1 (1) 五箇条の御誓文
(2) (例) 中央集権(国家)を確立するため。
(3) 学制 (4) 徴兵令 (5) エ
(6) 板垣退助
(7) (例) 俸禄が廃止されて生活が苦しくなり、帯刀などの特権も奪われたから。
(8) イ→ア→ウ (9) エ
(10) X 15 Y 25 Z 男性
- 2 (1) ウ
(2) (例) 樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。
(3) 屯田兵 (4) 沖縄県
- 3 (1) 殖産興業 (2) エ (3) 文明開化
(4) ウ

解説

- 1 (2) 版籍奉還では、旧藩主がそのまま治めていたので、あまり効果がなく、廃藩置県では中央から役人を派遣した。
(5) 額は棒グラフ、割合は折れ線グラフを読み取る。イで金額がやや減ったのは、税率が3%から2.5%に引き下げられたからである。エは、1880年から1885年にかけてやや上がっている。
(8) 国会期成同盟が国会開設の請願書を出し(1880年)、政府が国会開設の勅諭を出した(1881年)。国会開設に備え、立憲改進黨が結成された(1882年)。
(9) エの国民の権利は、法律の範囲内で認められた。
- 2 (1) 資料1は日清修好条規、資料2は日朝修好条規である。ア日本と清は互いに自国民を自国の法律で裁く権利を認め合っている。イ朝鮮が日本の領事裁判権を認めている。エ第1款に「平等」とうたっているものの、第10款に朝鮮に不利な内容が含まれている。
(3) Dの蝦夷地を北海道と改称し、日本の領土に組み込んだ。
(4) 琉球王国は独立国だったが、明治政府は、まず、琉球藩を置き、後に沖縄県に改称した。
- 3 (2) エ製糸場や紡績工場では、主に女性が働いた。
(4) 渋沢栄一は、多くの銀行や企業をつくった人物。津田梅子はアメリカに留学し、帰国後は女子教育に尽くした。

24 帝国主義と日本①

p.131

▶ 確認問題

- (1) ①列強 ②帝国主義
 (2) シベリア鉄道
 (3) イギリス (4) 欧化政策
 (5) ノルマントン号事件
 (6) ①陸奥宗光 ②領事裁判権
 (7) ①朝鮮 ②甲申
 (8) 甲午農民戦争 (9) 日清戦争
 (10) 下関条約〔日清講和条約〕
 (11) 台湾
 (12) 三国干渉
 (13) 大連
 (14) 大韓帝国〔韓国〕 (15) 台湾総督府
 (16) ①伊藤博文 ②立憲政友会

解 説

- (1) 列強は植民地を求めてアジア・アフリカを侵略し、互いに対立していった。
 (4) 欧化政策のころから、西洋式の官庁街も建設されるようになった。
 (8) 民間信仰を基にした宗教である東学を信仰する団体が、朝鮮半島南部で蜂起した。
 (11) 日本は台湾に総督府を置いて全権を与え、住民の抵抗を武力で抑えた。
 (14) 朝鮮の国王は皇帝となった。

p.132

●図表チェック●

- ① A 欧化 B 陸奥宗光
 C 遼東半島
 (1) 列強 (2) 鹿鳴館
 (3) 領事裁判権
 ② (1) A 植民地 B イギリス
 C ロシア D シベリア
 E ノルマントン号
 (2) A 清 B 朝鮮
 C ロシア D 甲午農民
 E 日清 F 下関

解 説

- ① A 欧化政策を進めた井上馨は領事裁判権をめぐる改正案で国内の反対を受け、条約改正交渉は失敗に終わった。
 (3) 陸奥宗光は領事裁判権の撤廃と引きかえに、国内での外国人の自由な活動を認めることの意義を説いた。

- ② (1) A 列強は武力を使って発展途上の地域に勢力を広げていった。
 E 和歌山県沖でイギリス船のノルマントン号が沈没し、日本人乗客は全員水死した。しかし、イギリス領事裁判所は、イギリス人の船長に軽い罰を与えただけだった。
 (2) A この風刺画には、日本と清のどちらかが釣り上げる魚(朝鮮)を、ロシアが狙っている様子が描かれている。
 E 日清戦争は、朝鮮への進出をねらう日本と、朝鮮を勢力範囲と考える清との間で起こった戦争である。

p.133

▶ 必修問題

- ① (1) A 帝国主義 B 朝鮮 C フランス
 D 三国干渉 E 欧化 F イギリス
 (2) ア
 (3) 下関
 (4) イ
 (5) 旅順・大連
 (6) 陸奥宗光
 ② (1) (例) 憲法が制定されるなど、法や国家のしくみが整備されたこと。
 (2) (例) 主に軍事力の強化に使われた。

解 説

- ① (1) B 清に朝鮮が独立国であることを認めさせ、朝鮮における清の影響力を排除しようとした。D 日本は三国干渉を受け入れ、返還分の補償金を得ることで遼東半島を清に返した。F ノルマントン号事件を見て、対等な条約を望む国民の声が高まっていた。
 (2) 農民たちは外国勢力の追放と政治改革を求めた。
 (4) A の半島は、山東半島である。
 (5) 遼東半島の旅順と大連は、軍事的に重要な地域にあった。
 ② (1) 法や国家のしくみが整備されたことを答える。日本がイギリスとの間で領事裁判権の撤廃に成功した背景として、日本国内の取り組みと国際情勢の2つが挙げられる。日本国内の取り組みとしては、大日本帝国憲法の制定や帝国議会の開設など、法や国家のしくみが整備されたこと、国際情勢としては、イギリスがロシアの南下を警戒し、ロシアに対抗するために交渉に応じたことである。
 (2) 軍事力のために使われたことを答える。三国干渉の後、日本はロシアに対抗するために軍備の拡張を図り、日清戦争で清から得た賠償金も主に軍事力の強化に使った。

25 帝国主義と日本②

p.135

▶ 確認問題

- (1) 義和団事件 (2) 満州
(3) 日英同盟 (4) 内村鑑三
(5) 与謝野晶子 (6) 日露戦争
(7) ①東郷平八郎 ②日本海
(8) アメリカ
(9) ポーツマス条約 [日露講和条約]
(10) 樺太 (11) 日比谷焼き打ち事件
(12) ①小村寿太郎 ②関税自主権
(13) 伊藤博文 (14) 韓国併合
(15) 孫文 (16) 三民主義
(17) 中華民国 (18) 辛亥革命

解 説

- (1) 義和団を中心として、外国人を排斥する運動が激化した。
(4) ほかに社会主義者の幸徳秋水も開戦反対の立場をとったが、非戦論は、マスメディアの主張する主戦論に抑えこまれた。
(11) 国民は多くの犠牲や重税などの負担に苦しみつつ、戦争に協力したため、不満が高まった。
(12) ①小村寿太郎はポーツマス条約締結の際も外相であった。
(15) 孫文は民族の独立を守り、近代的国家をつくる運動を進めた。

p.136

●図表チェック●

- 1 A 義和団 B 東郷平八郎
C 小村寿太郎 D 三民主義
(1) 南満州鉄道株式会社 [満鉄]
(2) 朝鮮 (3) 辛亥革命
2 (1) A 北京 B ロシア
C 日英同盟
D ポーツマス [日露講和]
E 韓国 F 旅順
(2) A 韓国併合 B 朝鮮総督
C 日本 D 満州

解 説

- 1 C 日露戦争の勝利が日本を外国に認めさせることとなり、条約改正につながった。
D 民族の独立、民主政の実現、国民生活の安定を主張した。
2 (1) B 朝鮮に勢力を伸ばそうとした日本は、ロシアとの対立を深めた。

D 日露両国に戦争を続けるゆとりがなくなり、アメリカ大統領に仲介を求めた。

(2) B 朝鮮総督には日本の軍人が任命された。

p.137

▶ 必修問題

- 1 (1) A 義和団 B 日英 C アメリカ
D 孫文 E 辛亥
(2) ①内村鑑三 ②与謝野晶子
(3) 東郷平八郎
(4) ①韓国 ②鉄道 ③大連 ④南樺太
(5) 伊藤博文
(6) 関税自主権
2 (1) (例) 日清戦争よりも死者などの犠牲や戦費の負担が多かったにもかかわらず、賠償金を得られなかったから。
(2) (例) 日本は南満州を影響下に置こうとしてロシアと協力するようになったため、満州への経済的な進出を狙うアメリカとの良好な関係が崩れ始めた。

解 説

- 1 (1) B 日本は、イギリスと手を結ぶことで、日本の国際的信用が高まるといった利点もあると考えた。D「中国革命の父」とよばれる。E アジアで初の共和国が誕生した。
(2) ②与謝野晶子は、個性を重んじるロマン主義を代表する歌人である。
(3) 大隈重信は立憲改進黨をつくった。中江兆民はフランスの人権思想を紹介した。陸奥宗光は領事裁判権の撤廃に成功した。
(4) ポーツマス条約により日本の韓国支配が確立し、ロシアから領土や利権を獲得した。
(5) 板垣退助は自由民権運動の中心となった。西郷隆盛は西南戦争を起こした。井上馨は欧化政策を進めた。
(6) 関税自主権の回復により、完全に対等な条約となった。
2 (1) 日清戦争よりも国民の犠牲や負担が大きかったにもかかわらず、賠償金を得られなかったことを答える。資料から、日清戦争よりも日露戦争のほうが、動員兵数、死者、戦費のいずれも多く、国民の犠牲や負担が大きかったことがわかる。
(2) 日本が南満州を支配下に置こうとしてロシアと協力するようになったこと、そのため、満州への経済的な進出を狙うアメリカとの良好な関係が崩れ始めたことの2点を答える。

26 アジアの強国の光と影

p.139

▶ 確認問題

- (1) 産業革命 [工業化] (2) 繊維
(3) 綿糸 (4) 製糸業
(5) 八幡製鉄所 (6) 中国
(7) 筑豊炭田 (8) 財閥
(9) 工場法 (10) 大逆
(11) 田中正造 (12) 横山大観
(13) 黒田清輝
(14) ①夏目漱石 ②森鷗外
(15) 樋口一葉 (16) 正岡子規
(17) 北里柴三郎 (18) 志賀潔
(19) 野口英世

解説

- (3) 綿糸の生産にかかる費用はしだいに安くなり、国際競争力を高めていった。
(8) 財閥は経済だけでなく、政治にも影響力を及ぼすようになっていった。
(10) 今日では、幸徳秋水ら起訴された者の大半は無罪であったとされている。
(14) ①夏目漱石は、人間の自我をすどく見つめる作品を残した。

p.140

● 図表チェック ●

- 1 A 田中正造 B 大逆事件
C 野口英世 D 豊田佐吉
(1) エ (2) ウ
2 (1) A 軽工業 B 重工業
C 日清 D 八幡
E 筑豊 F 足尾
G 日露 H 列強
(2) A 製糸 B 14
C 工場法 D 社会民主党

解説

- 1 A 田中正造は自由民権運動でも活躍した人物で、第1回総選挙に当選して衆議院議員となった。
D 豊田佐吉は安くて効率的な織機を発明した。
(1) 幸徳秋水らは社会民主党を結成した。
2 (1) A・B 紡績・製糸などの軽量の製品を生産する工業を軽工業、鉄鋼・造船など重量の製品を生産する工業を重工業という。
E 石炭の採掘は九州の筑豊、北海道、満州などで進んでいた。
F 足尾銅山から流れ出た鉱毒で、魚が死に、田

畑が荒れるなど、農業などに深刻な被害を及ぼした。

- (2)C 工場法には、さまざまな例外規定が設けられており、あまり機能しなかった。

p.141

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A 紡績 B 日清 C 八幡 D 国有
E 銅山 F 夏目漱石 G 森鷗外
H フェノロサ
(2) 財閥
(3) エ
(4) 小作人
(5) 田中正造
(6) 黒田清輝
(7) 北里柴三郎
2 (1) (例) 機械を使って大量生産できるようになり、国内生産量が増えたから。
(2) (例) 日本は列強の仲間入りをしたという意識。

解説

- 1 (1) A 紡績工場は、女性労働者の長時間・低賃金労働に支えられていた。D 鉄道は日清戦争後に全国に主要幹線がほぼ完成し、日露戦争後には、軍事輸送の目的や経営の統一のため、国有化された。E 政府は足尾銅山の鉱毒を取り除くよう指示したが、被害は続いた。
(2) 財閥は銀行を中心に多くの会社をもつようになった。
(3) 現在の鉄鉱石の主要輸入先であるオーストラリアとまちがえないようにする。
(4) 小作人は高い小作料を地主に納めなければならなかった。
(5) 田中正造は国会議員を辞職して、鉱毒問題を天皇へ直訴した。
(6) 黒田清輝は、岡倉天心やフェノロサの尽力で創設された東京美術学校で、西洋画の指導にあたった。
2 (1) 「機械」という語句を用いること。輸入に頼っていた綿糸が機械を使って大量生産できるようになったことで、国内生産量が増えたことを答える。
(2) 列強としての意識が生まれたことを答える。

p.142~143

- 1 (1) (例) イギリスの領事裁判権を認めていたから。
 (2) b 下関条約 [日清講和条約]
 e ポーツマス条約 [日露講和条約]
 (3) X 8 Y 9 Z 3 (4) イ (5) ウ
 (6) 帝国主義 (7) ①ア ②エ
 (8) う→あ→い
- 2 (1) 財閥 (2) ウ (3) A 八幡 B 足尾
 (4) 田中正造
- 3 (1) カ
 (2) D 北里柴三郎 E 志賀潔 F 野口英世
 (3) ウ

解説

- 1 (1) イギリス人船長が領事裁判で軽い罪ですんだため、日本国内で条約改正を求める声が高まった。
 (3) 日露戦争は日清戦争に比べ、大きな犠牲を払ったのに、賠償金を得ることができなかったため、日本国内では、ポーツマス条約に反対する声が高まった。
 (4) 日本はロシアに対する対抗心を高め、軍事費を拡大してロシアとの戦争に備えた。香港はアヘン戦争の結果、イギリス領となっていた。
 (5) 江華島事件は1875年に日本と朝鮮との間で起こった。甲午農民戦争は1894年に朝鮮で起こり、日清戦争のきっかけとなった。
 (6) イギリスは、アジアではインドや中国、東南アジアなどに植民地を広げていた。ロシアも南下政策をとったので、イギリスは日本と共同でロシアに対抗しようとした。
 (7) ①日清戦争開戦直前の1894年、陸奥宗光外相がイギリスとの間で成功した。②日露戦争後の1911年、小村寿太郎外相がアメリカとの間で成功した。
 (8) あの南樺太はポーツマス条約でロシアから獲得(1905年)、いの韓国は1910年に併合、うの台湾は下関条約で清から獲得(1895年)した。
- 2 (2) 繊維工業では日清戦争のころ産業革命が進み、戦後は輸出が輸入を上回った。ア1899年に一度ピークを迎えているが、最も多かったのは1906年。イ1899~1902年などは減っている。エ1906年には、国内生産量は約17万t、輸出量は約5万tなので、3分の1はこえていない。
- 3 (3) ウ女子の就学率が50%を超えたのは1895年よりも後のことである。

p.144~145

- 1 (1) 横浜
 (2) 建物：(例) 洋風の建物が増え、町並みが西洋風になった。
 服装：(例) 西洋式の服装をする人々が増えた。
- 2 (1) 約8倍
 (2) A 下関条約 B ポーツマス条約
 (3) (例) 戦費が増大し、多くの戦死者を出したにもかかわらず、戦争の結果として得られた賠償金がなかったため。
- 3 (1) (例) 米の収穫量に応じて米を納めていた。
 (2) 地価
 (3) (例) (俸禄の支給や帯刀の) 特権をうばわれて生活が苦しくなった士族が反乱を起こしていた。
 (4) (例) 直接国税を15円以上納める25歳以上の男性。
 (5) 衆議院
 (6) ①義和団事件 ②帝国主義
 ③a イギリス b ロシア
 ④ (例) 日露戦争に勝利し、ロシアから利権を得たため。

解説

- 1 (1) 資料1で示されている開国後の最大の貿易港は横浜である。1858年の日米修好通商条約で、函館・神奈川(横浜)・長崎・新潟・兵庫の5港が開港され、横浜はまたたく間に日本最大の貿易港となった。外国商人が多数居住し、貿易が活発に行われた。
 (2) 明治時代になり、欧米の文化が盛んに取り入れられるようになると、横浜や他の主要都市では洋風の建物が増え、町並みが西洋風になった。特に石造りやれんが造りの建物や洋館が多く建てられた。人々の服装も大きく変わり、着物から洋服へと移行した。
- 2 (1) 日清戦争と日露戦争の戦費を比較すると、日清戦争の際の戦費は2.3億円であったのに対し、日露戦争では18.3億円に達しており、約8倍に増加したことが分かる。これは、戦争が長期化し、兵力や武器の増強が必要だったためである。
 (2) 日清戦争の講和条約は1895年に下関で結ばれた下関条約、日露戦争の講和条約はアメリカのポーツマスで結ばれたポーツマス条約。日露戦争では、

戦争の長期化により日本とロシア^{そふほう}双方が戦争を続けるのが困難になったため、アメリカの仲介^{ちゅうかい}で講和条約が結ばれた。

- (3) 日露戦争後、国民の不満が高まった理由は、戦費が増大し、国民に重い税負担が課されたことにある。特に戦争中の消費税や酒税の増税^{しよみん}が庶民に大きな負担となった。さらに、戦争の結果として賠償金^{かひしょう}が得られず、領土の割譲も少なく、期待していた利益が得られなかったため、国民の不満が一層高まった。

- 3 (1) 江戸時代は米の収穫量^{えと}に対して一定の割合^{ねん}を年貢として納めていた。
- (2) 地租改正では土地の価格を基準に税が定められた。
- (4) 明治時代の選挙権は、直接国税を15円以上納める満25歳以上の男性に与えられた。この条件は非常に厳しく、有権者は総人口の1.1%しかいなかった。
- (5) 帝国議会は貴族院と衆議院からなる。選挙で選ばれた議員からなる議院は衆議院。貴族院の議員は、皇族・華族・勅選議員（天皇に任命された議員）で構成された。
- (6) ①義和団事件は清朝末期の民衆運動で、「扶清滅洋（清を助けて西洋を滅ぼせ）」をスローガンに、西洋の列強やキリスト教徒を攻撃した。この運動に対し、日本を中心とする8か国は連合軍を組織し、義和団^{ちんあつ}を鎮圧した。
- ②帝国主義とは、19世紀から20世紀初頭にかけて欧米諸国が経済的利益や領土拡大を求めて積極的に海外に進出した動きを指す。
- ③イギリスは南下政策を進めていたロシアと対立を深めていた。義和団事件以降、満州を支配下に置こうとするロシアの動きを警戒^{けいけい}した日本とイギリスは、日英同盟を結ぶことになった。
- ④日本が長春・旅順間の鉄道の利権^{りけん}を獲得できた理由は、ポーツマス条約でロシアからこれらの利権を譲渡されたためである。

27 第一次世界大戦と民族独立の動き

p.147

▶ 確認問題

- (1) 三国同盟 (2) 三国協商
- (3) ヨーロッパの火薬庫
- (4) サラエボ事件 (5) 第一次世界大戦
- (6) 総力戦 (7) 日英
- (8) 二十一か条の要求 (9) ロシア革命
- (10) 民族自決
- (11) ①シベリア出兵
②ソビエト社会主義共和国連邦〔ソ連〕
- (12) ベルサイユ条約 (13) 国際連盟
- (14) ワイマール憲法
- (15) 三・一独立運動 (16) 五・四運動
- (17) ①イギリス ②ガンディー
- (18) ワシントン会議

解説

- (3) バルカン半島では、ロシアが同じスラブ民族への影響力を拡大しようとし、オーストリアは同じゲルマン民族のドイツの助けを得て勢力を広げようとした。
- (7) 日英同盟には、相手国が2か国以上と交戦した場合、同盟国はこれを助けて参戦することが条項に含まれていた。
- (8) 袁世凱^{えんせいがい}の政府は、後に二十一か条の要求をほとんど受け入れた。
- (18) アメリカ・日本・イギリス・フランス・イタリア・ベルギー・オランダ・ポルトガル・中国の9か国が会議に参加した。

p.148

● 図表チェック ●

- 1 A ロシア革命 B パリ
C 国際連盟 D ガンディー
- (1) シベリア出兵 (2) ベルサイユ条約
- (3) ウィルソン (4) インド
- 2 (1) A バルカン B サラエボ
C イギリス D ドイツ
E 日英 F イタリア
- (2) A 二十一か条 B 山東
C 五・四 D 三・一独立

解説

- 1 B パリ講和会議では、アメリカ・イギリス・フランスの大国を中心に協議が進められた。
- D 第一次世界大戦後に自治を認めるという、イギリスのインドに対する約束は破られた。

- (3) アメリカは議会の反対によって国際連盟に参加しなかった。

- 2 (1)B オーストリアの皇太子夫妻がセルビアの青年に暗殺された。

E 日英同盟を理由に参戦した日本は、ドイツが支配していた山東半島の青島などを占領した。

- (2)C 五・四運動をきっかけに、孫文たちが中国国民党を結成した。

p.149

必修問題

- 1 (1) A サラエボ B 第一次世界大戦
C ロシア D 二十一条の要求
E ベルサイユ
- (2) ヨーロッパの火薬庫
- (3) イ・エ・カ
- (4) ア・イ・オ
- (5) ウ
- (6) ガンディー
- (7) エ
- (8) ワイマール憲法
- 2 (1) (例) 民族自決の考えが認められて、第一次世界大戦後に新しく成立した国々である。
- (2) (例) 中国の主権を尊重する条約が結ばれた。

解説

- 1 (1) B サラエボ事件をきっかけに、ドイツの支援を受けたオーストリアがセルビアに宣戦布告したことから始まった。D 中国はパリ講和会議で二十一条の要求の取り消しを求めたが退けられた。
- (3) オーストリア・ドイツ・トルコなどは同盟国とよばれた。
- (5) 工場や銀行などを国有として、社会主義国の建設を進めた。
- (6) ガンディーはインドの完全な自治を求める運動を進めた。
- (8) 満20歳以上の男女の普通選挙などが保障された。
- 2 (1) 「民族自決」という語句を用いること。民族自決の考えが認められたことと、新しく成立した国々であることを答える。民族自決は、アメリカ大統領ウィルソンが呼びかけた、各民族は自分たちのことを決める権利がある、とする考え方である。
- (2) 「主権」という語句を用いること。中国の主権を尊重すると決定したことを答える。

28 高まるデモクラシーの意識

p.151

確認問題

- 1 (1) 第一次護憲運動 (2) 吉野作造
- (3) 民本主義 (4) 米騒動
- (5) ①原敬 ②政党内閣
- (6) 大正デモクラシー (7) 男子普通選挙
- (8) 治安維持法 (9) 平塚らいてう
- (10) 労働争議 (11) 労働組合
- (12) 小作争議
- (13) ①全国水平社 ②北海道アイヌ
- (14) 大衆文化 (15) 芥川龍之介
- (16) 関東大震災 (17) ラジオ放送
- (18) 柳田国男

解説

- 5 (1) ①盛岡藩 (岩手県) 出身で、華族・藩閥出身でもなかった原敬は「平民宰相」とよばれた。
- (7) 男子普通選挙の実現によって、有権者の数は約4倍に増えた。
- (9) 「元始、女性は実に太陽であった」で始まる文章は、雑誌「青鞥」の創刊号に発表された。
- (16) 関東大震災による打撃から日本の経済はなかなか立ち直れず、不況が長引いた。
- (17) ラジオは新聞と並ぶマスメディアとして成長した。

p.152

図表チェック

- 1 A 青鞥社 B 第一次護憲
- C 吉野作造 D 政党内閣
- E ラジオ
- (1) ア・エ (2) 米騒動
- (3) 立憲政友会
- 2 (1) A 直接国税 [納税額]
- B 25 C 男子普通選挙
- D 治安維持法 E 社会主義者
- F 労働争議 G 小作争議
- H 全国水平社
- (2) A 第一次世界大戦 B 輸出
- C 輸入 D 大戦景気
- E 財閥 F 関東大震災

解説

- 1 A 女性に対する古い考え方を批判した。
- B 尾崎行雄は「憲政の神様」とよばれた。
- (1) 一部の藩の出身者が政府の要職を独占し、国民の意見に耳を貸さなかった。

- 2 (1)D 労働争議や小作争議に力を入れた人々も、治安維持法で取り締まられた。
- H 差別されていた人々は、自らの力で差別をなくそうと立ち上がった。

p.153

▶ 必修問題

- 1 (1) A 民本 B 大正デモクラシー C25
D 平塚らいてう E 治安維持法
- (2) エ
- (3) ①○ ②× ③○ ④×
- (4) 成金
- (5) イ
- 2 (1) (例) シベリア出兵で軍が大量の米を必要とすると予想した商人たちが、米を買い占めたから。
- (2) (例) 大臣の大部分が、衆議院の第一党である立憲政友会に所属しているから。

解説

- 1 (1) C 年齢の制限はそれまでと変わらなかった。D 平塚らいてうや市川房枝らは、1920年に新婦人協会を結成した。Eその後、社会運動全体を取り締まるのに用いられた。
- (3) ②明治初期の文明開化の説明である。④テレビ放送は第二次世界大戦後の1950年代に始まった。大正時代に放送が開始されたのはラジオである。
- (4) 第一次世界大戦中の日本は、輸出が輸入を上回る状態になり、好景気にわいた。
- (5) ア1890年の第1回衆議院議員総選挙のこと。ウ貴族院議員は皇族や華族、天皇から任命された議員などからなっていた。エ加藤高明内閣以後8年間、政党内閣が続いた。
- 2 (1) 「シベリア出兵」という語句を用いること。商人たちが米を買い占めたことを答える。
- (2) 「第一党」という語句を用いること。衆議院で第一党の立憲政友会の党員が大臣の大部分を占めたことを答える。

定期テスト 得点 UP 問題 27・28

p.154~155

- 1 (1) ウ (2) ア
- (3) bエ cイ
- (4) 国際連盟 (5) ア (6) 米騒動
- (7) (例) 原敬が本格的な政党内閣を組織した。
- (8) ウ (9) 治安維持法
- 2 (1) エ
- (2) ①イ ②ワイマール憲法 ③ガンディー
- ④大正デモクラシー
- ⑤X吉野作造 Y美濃部達吉
- ⑥イ
- (3) (例) 新聞・ラジオや雑誌によって、情報が広く伝わったから。
- (4) イ

解説

- 1 (1) イタリアは三国同盟の一員だったが、第一次世界大戦では連合国側についた。
- (2) 辛亥革命は1911年に起きた。ワシントンでは1921年から国際会議が開かれ、列強の海軍の主力艦保有量の制限や、中国の主権を尊重することなどが決められた。
- (3) b朝鮮は日本の植民地であった。c日本が第一次世界大戦中に得た山東省のドイツ権益を受け継ぐことが決まったので、中国では反日・反帝主義運動が起こった。
- (5) イの二十一か条の要求は中華民国の袁世凱政府に対して出した。ウのロシアは連合国。エの山東省はドイツ領。
- (8) 納税額による制限は撤廃されたが、性別による差別は残った。
- 2 (1) 大戦中、日本は大戦景気とよばれる好景気になった。賃金も上がったが、物価がそれ以上に上がって、人々の生活は苦しくなった。
- (2) ②ワイマール憲法は、その当時の世界で最も民主的な憲法であった。③イギリス領インドは、第一次世界大戦の戦場に兵士を送ったものの、約束されていた自治は認められなかったため、抵抗運動が起こった。⑥自由党が結成されたのは、自由民権運動で国会開設が約束されたあとの1881年である。
- (4) 夏目漱石は「坊っちゃん」や「吾輩は猫である」の著者。志賀直哉は白樺派とよばれる人道主義の文学者。

29 戦争に向かう世論①

p.157

▶ 確認問題

- (1) アメリカ (2) 世界恐慌
- (3) ニューヨーク (4) 金融恐慌
- (5) 昭和恐慌 (6) 養蚕業
- (7) 財閥
- (8) ニューディール[新規まき直し]
- (9) ローゼンベルグ
- (10) ①イギリス ②ブロック経済
- (11) スターリン
- (12) 五か年計画 (13) ファシズム
- (14) イタリア (15) ファシスト党
- (16) エチオピア
- (17) ①ドイツ ②ヒトラー
- (18) ユダヤ人

解説

- (4) 関東大震災の復興のために不良債権がふくれ上がっていたことが、金融恐慌の原因となった。
- (7) 財閥は台湾・朝鮮・満州にも進出して、大きな利益を上げるようになっていた。
- (10) ブロック経済が広まると、自由貿易はさまたげられ、植民地の少ない国との間に対立が生まれた。
- (11) スターリンは秘密警察を設け、反対する人々を強制収容所に送り、多くの人を処刑した。
- (15) 独裁的な軍国主義をとった。

p.158

●図表チェック●

- 1 A スターリン B 世界恐慌
- C ヒトラー
- (1) ニューヨーク (2) ユダヤ人
- (3) ムッソリーニ (4) ファシズム
- 2 (1) A 金融 B 財閥
- C フランス D ブロック
- (2) A アメリカ B ローゼンベルグ
- C 公共 D 賃金
- E ドイツ F ベルサイユ

解説

- 1 B 世界一の経済力をもっていたアメリカの不景気は、アメリカの経済力に依存していた多くの国々に深刻な影響を及ぼした。
- C 選挙に勝って政権を握ったヒトラーは、独裁体制を確立した。
- (2) 終戦までに数百万のユダヤ人の命を奪った。

- 2 (1) D 本国と植民地との結びつきを強め、外国商品に高い関税をかけて締め出した。
- (2) F ベルサイユ条約において、ドイツは多額の賠償金の支払い義務を課せられ、本国の一部とすべての植民地を失ったうえ、軍備の縮小も課せられていた。

p.159

▶ 必修問題

- 1 (1) A ニューディール[新規まき直し]
B 植民地 C ブロック
D 昭和 E イタリア F ファシスト
G ナチ H ファシズム
- (2) イ
- (3) 労働争議
- (4) 宮沢賢治
- (5) エチオピア
- 2 (1) (例) アメリカへの生糸の輸出が途絶えたため。
- (2) 記号ア (例) ソ連は世界恐慌の影響をほとんど受けず、五か年計画とよばれる計画経済によって、生産を増やしたから。

解説

- 1 (1) A ダム建設などの公共事業をおこし、労働者の賃金を引き上げた。G 言論や思想の自由を奪い、ナチ党以外の政党を禁止した。H 議会の権利を奪い、反対する勢力を暴力で抑えつけた。
- (2) 立憲民政党による政党内閣。浜口雄幸は首相在任中に東京駅で銃撃を受け、その傷がもとで命を落とした。
- (3) 労働者は団結して労働条件の改善を求めた。
- 2 (1) 「アメリカ」という語句を用いること。生糸の最大の輸出相手国だったアメリカが深刻な不景気におちいり、生糸の輸出が途絶えたことを答える。
- (2) 「五か年計画」という語句を用いること。ソ連が計画経済によって、生産を増やしたことを答える。

30 戦争に向かう世論②

p.161

▶ 確認問題

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 蒋介石 | (2) 満州事変 |
| (3) 満州国 | (4) 五・一五事件 |
| (5) 国際連盟 | (6) 二・二六事件 |
| (7) 軍国主義 | (8) 綿織物 |
| (9) ドイツ | (10) ①盧溝橋 ②日中 |
| (11) ①毛沢東 ②中国共産 | |
| (12) 抗日民族統一戦線 | (13) アメリカ |
| (14) 国民精神総動員運動 | |
| (15) 国家総動員法 | (16) 大政翼賛会 |
| (17) 配給 | (18) 隣組 |

解 説

- (2) 満州事変が、以後15年間にわたる対外戦争の始まりとなった。
- (4) 五・一五事件により、政党内閣はいったん終わりを告げた。
- (9) ドイツではヒトラーの率いるナチ党が選挙に勝利し、1933年に政権を握った。
- (10) 和平への動きを近衛内閣は打ち切り、日中戦争は長期化していった。
- (12) 中国国民党と中国共産党は争っていたが、手を結んで抗日民族統一戦線を組織することにした。
- (15) 議会の承認なしに、国民や物資などを動員できる権限を政府に与えた。

p.162

● 図表チェック ●

- ① A 蒋介石 B 清
- C 犬養毅 D 日中戦争
- (1) 南満州鉄道 (2) 五・一五事件
- (3) 国家総動員法
- ② (1) A 国民政府 B 満州
- C 柳条 D 満州事変
- (2) A 国際連盟 B リットン
- C 陸軍 D 二・二六
- E 軍部

解 説

- ① B 清の最後の皇帝は、辛亥革命により1912年に退位していた。
- C 犬養毅は大正時代には尾崎行雄とともに第一次護憲運動の中心となっており、桂太郎内閣を退陣に追い込んだ。
- (1) ポーツマス条約によって、日本はロシアから鉄道の営業権の一部を譲り受け、南満州鉄道株式会

社を設立していた。

- ② (1)C 柳条湖が郊外にある奉天は現在の瀋陽である。
- (2)A 中国は、満州事変は日本の侵略として国際連盟に訴え、連盟は調査のうえ、日本に軍隊の引き揚げを勧告した。
- D 二・二六事件のあと、軍部はさらに力を強めた。

p.163

▶▶ 必修問題

- ① (1) A 南満州 B 二・二六 C 軍国
- D 毛沢東 E 日中 F 大政翼賛会
- (2) 関東軍
- (3) 犬養毅
- (4) ア
- (5) ア
- (6) 隣組
- (7) エ
- ② (1) (例) 資源の豊かな満州を支配することで、不景気を解決できるという考え。
- (2) (例) 国際連盟が満州国を承認せず、日本に軍隊を引き上げるように勧告したから。

解 説

- ① (1) C 学校でも軍国主義の教育が盛んに行われるようになった。E 日中戦争で、アメリカは中国を支援した。F 政党は1940年には解散し、大政翼賛会という戦争に協力するための組織に合流した。
- (2) 満州に駐屯していた日本の陸軍部隊を関東軍とよぶ。
- (3) 犬養毅は軍部の力を抑えようとしていた。
- (5) この事件は南京事件とよばれ、諸外国に強く非難された。
- (6) 町内会やその下につくられた隣組を通して、国民は政府に統制された。
- (7) 財閥はいちだんと力を強めていた。
- ② (1) 経済危機を満州への侵略によって打開しようとした考えであることを答える。
- (2) 「承認」「軍隊」という語句を用いること。国際連盟が満州国を承認しなかったこと、日本に軍隊を引き上げるように勧告したことを答える。国際連盟は、満州での日本の権益は認めたが、満州国は承認しなかった。

31 第二次世界大戦の惨禍

p.165

▶ 確認問題

- (1) 独ソ不可侵条約 (2) 第二次世界大戦
(3) レジスタンス (4) 日独伊三国同盟
(5) 大西洋憲章 (6) 日ソ中立条約
(7) 真珠湾
(8) 太平洋戦争 [アジア・太平洋戦争]
(9) 大東亜共栄圏 (10) 皇民化政策
(11) ミッドウェー海戦 (12) サイパン島
(13) ①勤労働員 ②学徒出陣
(14) ①空襲 ②学童疎開 [疎開]
(15) 沖縄戦 (16) ポツダム宣言
(17) 原子爆弾 [原爆] (18) ソ連

解説

- (2) イギリスとフランスは、ポーランドを支援してドイツに宣戦布告した。
(5) 領土を拡大しないこと、国境線を変更しないこと、民族自決などを掲げた。
(9) 日本は、中国や東南アジアの国々を欧米諸国の支配から「解放」し、日本の指導の下、アジアの民族だけで栄えていこうという「大東亜共栄圏」の建設を唱えた。
(10) 朝鮮や台湾の人々は、皇国の臣民となるよう同化を強要された。

p.166

● 図表チェック ●

- 1 A 太平洋戦争 [アジア・太平洋戦争]
B ミッドウェー C ポツダム
(1) マレー半島 (2) 皇民化政策
(3) イ
2 (1) A ドイツ B ポーランド
C イギリス D フランス
E イタリア F 日独伊
(2) A 空襲 B 東京
C 広島 D 長崎

解説

- 1 A 日独伊三国同盟に基づき、ドイツ・イタリアがアメリカに宣戦布告したため、第二次世界大戦の一部と見なされる。
(3) ポツダム会談には、アメリカ・イギリス・ソ連の首脳が参加していたが、この時点でソ連は日本と戦ってはいないことから、ポツダム宣言は当事国であるアメリカ・イギリス・中国の名で発表された。

- 2 (1) A パリを占領してフランスを降伏させたドイツは、イギリスを除く西ヨーロッパの大半を支配下に入れた。
(2) A アメリカは1944年にサイパン島を占領したことで、サイパン島を基地として、空襲を行うようになった。

p.167

▶▶ 必修問題

- 1 (1) A パリ B 真珠 C 沖縄
D 原子爆弾 [原爆]
(2) ユダヤ人
(3) 連合国 イ・オ・カ 枢軸国 ア・ウ・エ
(4) 日ソ中立条約
(5) d 勤労働員 e 学徒出陣
(6) f ウ g ア
2 (1) (例) 国民の戦意が下がらないようにするため。
(2) (例) 都市部がひんぱんに空襲を受けるようになったため。／都市部で激しくなった空襲を避けるため。

解説

- 1 (1) A 1944年の連合国軍によるノルマンディー上陸作戦の後、パリは解放された。B 日本の宣戦布告が遅れたため、アメリカは真珠湾攻撃を不意打ちと非難した。
(2) アウシュビッツ (ポーランド) などの強制収容所で、多くのユダヤ人が殺害された。
(5) d 多くの労働者が出征して労働力が不足したため、中学生や女学生も働かされた。e 1943年から学徒出陣が始まり、大学生も徴兵猶予を取り消され戦地におもむいた。
(6) f ほかに戦後のドイツのアメリカ・イギリス・フランス・ソ連による共同管理などが決定された。イは三国干渉、エはサンフランシスコ会議。
2 (1) 国民の戦意が下がらないようにするということを答える。戦時中、政府の言論統制により、マスメディアは戦争をあおったため、国民は実際の戦況がどのようなものか、正しい情報を得られなかった。
(2) 空襲からの避難であることを答える。

p.168～169

- 1 (1) 世界恐慌 (2) エ
(3) A 満州事変・エ B 日中戦争・ウ
C 第二次世界大戦・ア
D 太平洋戦争 [アジア・太平洋戦争]・イ
(4) 犬養毅
(5) (例) 国民や物資を優先して戦争に回すため。
(6) 日独伊 (7) ア→ウ→イ
(8) ポツダム宣言
- 2 (1) X ニューディール Y ブロック
(2) a ア b ウ
(3) (例) 銀行が倒産すると聞いた人々が預金を引き出そうとしたから。
(4) エ (5) オ (6) 勤労動員 (7) イ

解説

- 1 (2) エ 1933年以降、ドイツの経済は急速に回復している。ナチスが1933年に政権を取り、軍備拡張と公共事業を進めたためである。
(4) 犬養毅は立憲政友会の出身で、政党内閣を組織。
(5) 「国民や物資」「戦争」の語句を用いること。政府が議会の承認なしに、国民や物資を動員できるようにした。そのため、議会の力が弱まった。
(6) ドイツとイタリアは以前から同盟関係にあり、ベルリン・ローマ枢軸とよばれていたため、日本も枢軸国の一員とされた。
(7) アは1944年、イは1945年8月6日・9日、ウは1945年3月。
(8) ポツダム宣言は7月に発表されたが、日本が受け入れを決めたのは8月14日だった。
- 2 (2) イはソ連、エはアメリカの指導者。
(3) 支払い不能となった多くの銀行がつぶれ、財閥系の五大銀行に吸収された。
(4) 主にアメリカに輸出されていた生糸が売れなくなり、養蚕農家が打撃を受けた。都市では多くの工場や企業が倒産した。ア自作農のほうで、1929年と1931年の差が大きい。イ1930～1932年、1937年は2000件を超えている。ウ収入が最も少ない年は1931年、小作争議が最も多かった年は1935年。
(5) Aはアメリカ、Bはイギリス、Cは中国、Dはオランダ。
(7) ア都市から地方に疎開した。ウ抵抗運動であるレジスタンスは主にフランスで起こった。エ専売制ではなく配給制。

32 敗戦から立ち直る日本

p.171

確認問題

- 1 (1) 連合軍総司令部 [GHQ]
(2) マッカーサー (3) シベリア抑留
(4) 中国残留日本人孤児
(5) 20 (6) 財閥解体
(7) 農地改革 (8) 日本国憲法
(9) ①国民主権 ②平和主義
③基本的人権を尊重
(10) 教育基本法 (11) 国際連合 [国連]
(12) 冷たい戦争 [冷戦]
(13) 中華人民共和国
(14) ①大韓民国 [韓国]
②朝鮮民主主義人民共和国 [北朝鮮]
(15) 朝鮮戦争 (16) 自衛隊
(17) 朝鮮特需

p.172

図表チェック

- 1 A マッカーサー
B 極東国際軍事裁判 [東京裁判]
C 中華人民共和国
(1) 財閥解体 (2) エ
- 2 (1) A GHQ B 日本国憲法
C 平和主義 D 警察予備隊
E 自衛隊
(2) A 国際連合 [国連] B アメリカ [アメリカ合衆国]
C ソ連 [ソビエト連邦] D 冷たい戦争 [冷戦]
E ドイツ
F 朝鮮民主主義人民共和国 [北朝鮮]
G 大韓民国 [韓国]

p.173

必修問題

- 1 (1) A マッカーサー B 20 C 労働
D 冷たい戦争 [冷戦] E 中華人民共和国
(2) イ
(3) 教育基本法
(4) 国民主権・平和主義
(5) 北大西洋条約機構 [NATO]
(6) ア
(7) 警察予備隊
- 2 (1) (例) 政府が地主の農地を買い上げて、小作人に安く売り渡した。
(2) (例) アメリカ軍が朝鮮戦争に必要とする軍事物資などの生産を、日本が引き受けたから。

33 世界の多極化と日本の成長①

p.175

▶ 確認問題

- (1) ①吉田茂^{よし た しろ} ②サンフランシスコ平和条約
 (2) 日米安全保障条約^{は しやう あん ぽ} [安保条約]
 (3) ①日ソ共同宣言^{にっ} ②国際連合 [国連]
 (4) 55年体制
 (5) ①岸信介^{きしのぶすけ} ②安保闘争^{とうそう}
 (6) 非同盟主義
 (7) アジア・アフリカ会議
 (8) アフリカの年
 (9) ①佐藤栄作^{さとうえいさく} ②沖縄^{おきなわ} ③基地 [軍事基地]
 (10) 非核三原則^{ひかく} (11) ベトナム戦争^{べつなむ せんそう}
 (12) 日韓基本条約^{にっかん} (13) 日中共同声明^{にっしゅう だうしやうめい}
 (14) 日中平和友好条約 (15) 賠償^{ばいしょう}

p.176

● 図表チェック ●

- ① A 吉田茂 B 日ソ共同宣言
 C 岸信介 D 佐藤栄作
 (1) エ
 (2) アジア・アフリカ会議
 (3) ウ
 (4) ベトナム
 ② (1) Aサンフランシスコ
 B日米安全保障 [安保] C北方領土^{だいかんみんこく かんこく}
 D大韓民国 [韓国]^{ちやう か じんみんきやう わ こん}
 E中華人民共和国 [中国]
 (2) A非核三原則 B沖縄
 Cアメリカ

p.177

▶▶ 必修問題

- ① (1) A資本^{し ほん} Bサンフランシスコ
 C日米安全保障条約 [安保条約]
 D南ベトナム E日韓基本条約
 F日中共同声明
 (2) ウ
 (3) 吉田茂
 (4) エ
 (5) ア・エ
 (6) ア
 ② (1) (例) 日ソ共同宣言を調印して、ソ連との
 国交を回復したこと。
 (2) (例) 広大なアメリカ軍基地が、返還後^{へんかん}も
 沖縄に残されたこと。

34 世界の多極化と日本の成長②

p.179

▶ 確認問題

- (1) 高度経済成長
 (2) 東京オリンピック・パラリンピック^{とうきやう}
 (3) 2 (4) ①公害^{みなまた} ②水俣病^{みなまた}
 (5) ①公害対策基本法^{こうがいたいさく き ほんぽう} ②環境庁^{かんきやうちやう}
 (6) 石油危機^{せうしゆ けい}
 (7) 先進国首脳会議 [サミット]^{せんしんこくしゆのう}
 (8) 自動車 (9) 貿易摩擦^{ぼうえき まさつ}
 (10) バブル経済^{しんこう}
 (11) 新興工業経済地域 [NIEs]
 (12) 政府開発援助 [ODA]^{せい ふ かいはつえんじょ}
 (13) 湯川秀樹^{ゆかわひでき} (14) 三種の神器^{さんしゆ じん ぎ}
 (15) マスメディア (16) 黒澤明^{くろさわあきら}
 (17) 川端康成^{かわばたやすなり} (18) 手塚治虫^{てつかわさ む}

p.180

● 図表チェック ●

- ① A 湯川秀樹 B 池田勇人^{いけだ はやと}
 C 石油危機 D バブル
 (1) ア (2) ODA
 ② (1) A高度経済成長 B所得倍増^{とくはうぞう}
 C東京 D東海道
 E過密^{か みつ} F公害対策基本法
 (2) A大衆 Bマスメディア
 C黒澤明 Dテレビ
 E手塚治虫

p.181

▶▶ 必修問題

- ① (1) A高度経済成長 B重化学
 C三種の神器 D公害 E石油危機
 Fサミット Gバブル
 (2) エネルギー革命
 (3) ウ
 (4) ウ
 (5) エ
 (6) 湯川秀樹
 ② (1) (例) 農村から都市へ人口が移動した。／
 都市は過密となり、地方では過疎地域が現れた。
 (2) (例) 日本はアメリカとの貿易が大幅に黒
 字であったため、アメリカとの間に深刻な貿
 易摩擦^{おおはば}が発生した。

35 これからの日本と世界

p.183

▶ 確認問題

- (1) ベルリンの壁
 (2) ①マルタ会談 ②冷戦の終結
 (3) グローバル化 (4) ヨーロッパ連合 [EU]
 (5) 湾岸戦争
 (6) 同時多発テロ (7) イラク戦争
 (8) 55年体制 (9) 政権交代
 (10) バブル経済 (11) 18歳 (12) 拉致
 (13) パリ協定 (14) SDGs
 (15) 地球温暖化 (16) 東日本大震災
 (17) 持続可能な社会
 (18) 政府開発援助 [ODA]
 (19) 非政府組織 [NGO]

p.184

● 図表チェック ●

- ① A マルタ B 55年体制
 C 民主 D 東日本大震災
 (1) 冷たい戦争 [冷戦]
 (2) ヨーロッパ連合 [EU]
 (3) 政権交代 (4) ボランティア
 ② (1) Aユーゴスラビア B湾岸
 C同時多発 Dアフガニスタン
 Eシリア
 (2) A温室効果 B1.6 [2]
 Cパリ D持続可能

p.185

▶ 必修問題

- ① (1) A東 Bベルリン
 Cソ連 D中国
 Eユーロ F ODA
 G NGO Hグローバル
 (2) エ
 (3) ①バブル経済 ②イ
 (4) テロ
 ② (1) (例) 民族 [宗教] の違いによる対立。
 (2) (例) 東日本大震災で福島県の原子力発電
 所が事故を起こしたから。

定期テスト ◀ 得点 UP 問題 32~35

p.186~187

- ① (1) (例) 女性に参政権が認められ、初めての
 女性の国会議員が誕生した。
 (2) X国民 Y基本的人権 Z平和
 (3) サンフランシスコ (4) エ
 (5) 平和友好 (6) ア (7) イ
 (8) イ
 ② (1) (例) 自作農を増やすこと。
 (2) X鉄鋼 Y機械 Z1955
 (3) ①高度経済成長 ②ウ
 ③イ ④ア ⑤バブル ⑥エ

解説

- ① (1) 「参政権」「国会議員」という語句を用いること。
 写真から、国会に女性の議員がいることが分かる。
 (3) アメリカの呼びかけで講和会議が開かれたが、
 中国と朝鮮は招かれず、ソ連は調印を拒否した。
 (4) 日ソ共同宣言でソ連と国交を回復したことで、
 国際連合の常任理事国であるソ連の反対がなくなり、
 日本の国際連合加盟が実現した。アは1951年
 でサンフランシスコ平和条約と同時。イは1972年
 で日中共同声明と同年。ウは1950年で朝鮮戦争と
 同年。
 (6) 朝鮮戦争は朝鮮民主主義人民共和国と大韓民国
 の戦い、ベトナムは北ベトナムと南ベトナムの戦
 いで、いずれも、北を社会主義陣営が、南を資本
 主義陣営が支援した。イラク戦争は、アメリカが
 イラクを攻撃した。
 (7) インドネシアのバンドンで開かれたので、バン
 ドン会議ともよばれる。
 (8) アは1990年、ウは1991年。
 ② (1) 資料1から自作農の割合が大きく増え、小作農
 の割合が減っていることが分かる。小作農が自分
 の土地をもち、自作農になったと考えられる。
 (2) 戦後は重化学工業が発展した。1956年の政府の
 経済に関する刊行物に書かれた「もはや戦後では
 ない」という言葉は有名である。
 (3) ②高度経済成長期、家庭電化製品が普及した。
 洗濯機・冷蔵庫・白黒テレビは「三種の神器」と
 よばれた。アは大正時代、イは1990年代、エは明
 治時代。③アは1967年、ウは東京裁判ともよばれ、
 1946~1948年、エは1953年。④イは2001年、ウは
 1962年、エは1991年。⑥2011年に起きた東日本大
 震災。

p.188~189

1 (1) ウ

(2) エ

(3) イ

(4) 冷たい戦争 [冷戦]

2 (1) イ→ア→エ→ウ

(2) (例) 世界恐慌^{きょうこう}の発生で失業者が増加したが、ローズベルト大統領がニューディール政策を行ったことで減少した。

(3) (例) 戦時中の空襲^{くうしゅう}による都市部の被害から子どもを避難させるため。

(4) A サンフランシスコ平和 B ポーツマス

(5) (例) 1950年に朝鮮戦争^{ちようせん}が起これ、日本は特需景気となったから。

(6) (例) 1973年の石油危機 (オイル・ショック) により石油価格が大幅に上昇し、日本経済が打撃を受けたから。

解説

1 (1) 日清戦争後、日本と清との間で締結された下関条約により、日本は遼東半島、台湾、澎湖諸島を獲得し、清から巨額の賠償金を受け取った。これに対してロシア・ドイツ・フランスが遼東半島の返還を勧告したできごとは三国干渉。

(2) ベルサイユ条約が結ばれた1919年ごろ、日本で起こったできごとは米騒動。アの日中戦争や太平洋戦争が始まったのは1937年以降。イは1873年ごろのできごと、ウは1936年の二・二六事件以降、軍部の発言力が強まった。

(3) 図は、第二次世界大戦のころの国際関係を表している。日本・ドイツ・イタリアのつながりは日独伊三国同盟。日本が大東亜共栄圏を唱えて南進を行うことに反対し、日本を経済的に封鎖していたアメリカ・イギリス・中華民国・オランダの4か国は、その頭文字をとって、ABCD包囲陣と呼ばれた。

(4) 1989年にアメリカとソ連の首脳が地中海のマルタ島で会談し冷戦の終結を宣言した。この会談をマルタ会談という。この翌年には東西に分かれていたドイツが統一し、1991年にソ連が解体した。

2 (1) アの治安維持法の公布は1925年、イの関東大震災^{さいざい}の発生は1923年、ウの国家総動員法の制定は1938年、エの満州事変^{まんしゅう}が起こったのは1931年。

(2) 資料1のアメリカの失業者数の推移を見ると、1929~31年にかけて増加し、その後下がっている。

1929年に世界恐慌が発生し、企業の倒産と経済不況^{ききょう}が深刻化して、失業者が急増した。1930年代後半以降、ローズベルト大統領のニューディール政策によって、経済が回復し、失業者が減少に向かった。

(3) 疎開は、戦時中の空襲による都市部の被害から子どもを避難させるために行われた。特に東京や大阪などの大都市は空襲の標的となったため、多くの市民が安全な地方へ避難した。

(4) 1951年のサンフランシスコ平和条約で、日本はアメリカをはじめとする連合国と平和条約を締結し、占領状態から主権を回復して独立国として再出発することができた。日本が樺太の一部を得たのは日露戦争の講和条約であるポーツマス条約のとき。

(5) 急速に経済が復興した理由は、朝鮮戦争特需とアメリカの経済援助によるものである。1950年に朝鮮戦争が始まると、日本はアメリカの発注で大量に軍需物資を生産し、経済成長の原動力となった。また、アメリカからの経済援助により、インフラの整備や産業の再建が進んだ。

(6) 1973年の第四次中東戦争が原因となった石油危機 (オイル・ショック) により石油価格が大幅に上昇し、世界経済が打撃を受けた。日本でも石油危機はエネルギーコストの上昇を引き起こし、製造業を中心に生産コストが増加し、高度経済成長が終わった。